REX COMICS
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
©NBGI
6
藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス
REX COMICS
テイルズ オブ レジェンディア
TALES OF LEGENDIA
6
原作：バンダイナムコゲームス
藤村あゆみ
一迅社
REX 129

COMMENT

藤村あゆみ
AYUMI FUJIMURA

最終巻です!

いかがでしたでしょうか。

力不足な面は多々ありましたが

こんなに楽しく、幸せなお仕事はありませんでした。

ゲームをやったことのない人は、

是非ゲームをプレイしてください!

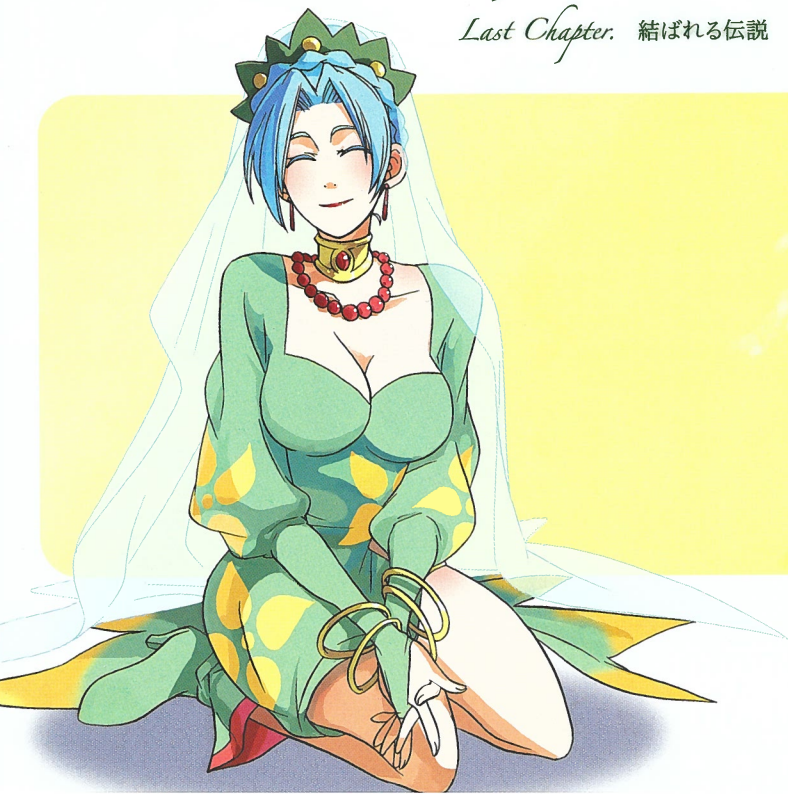
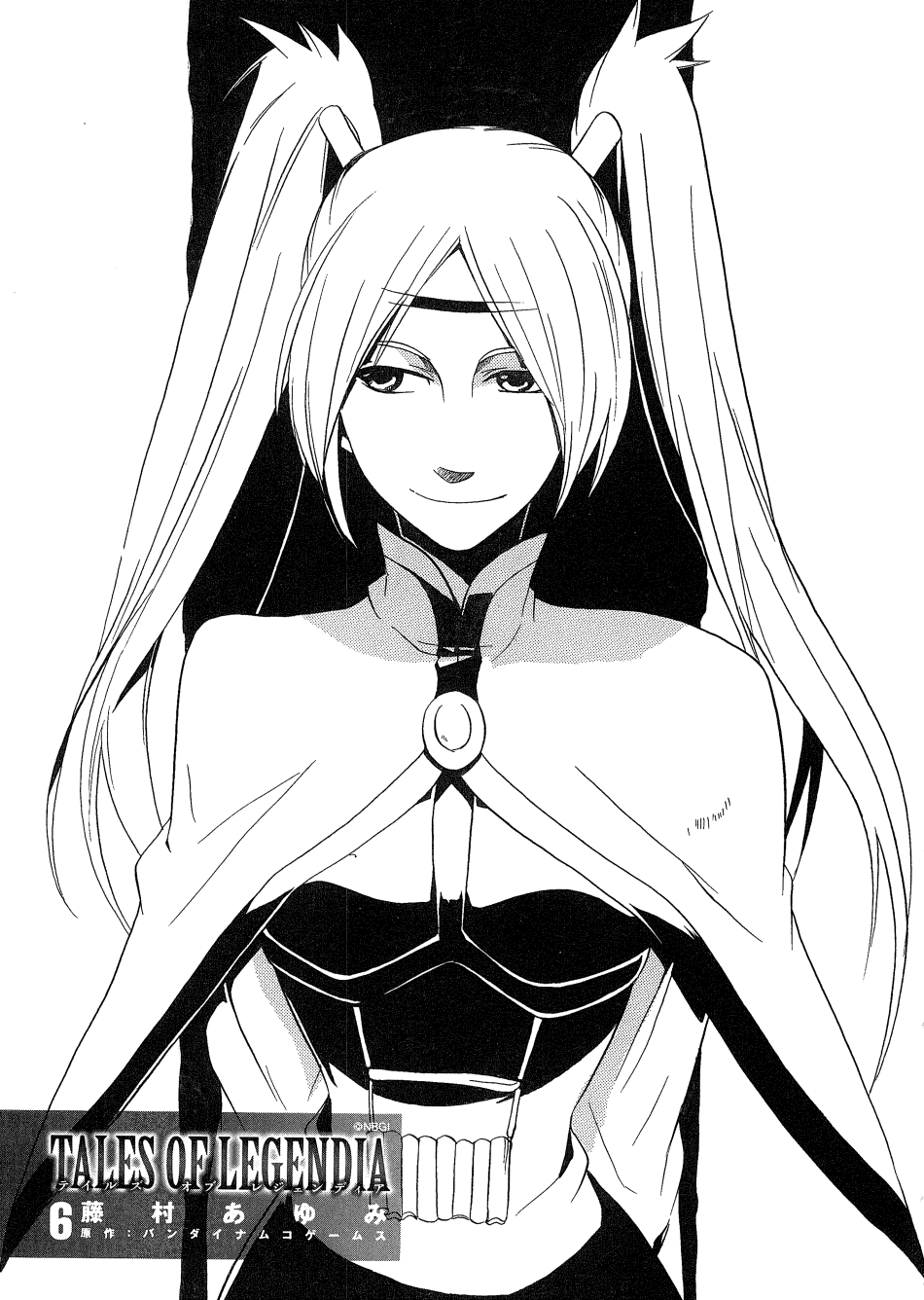
やったことのあるひとは、

もう一度楽しんでもらえたらいいなあと

思いながら、漫画を描きました。

TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
6
藤村あゆみ
原作:バンダイナムコゲームス
REX COMICS
テイルズ オブ レジェンディア
TALES OF LEGENDIA
6
藤村あゆみ
原作:バンダイナムコゲームス
一迅社
REX 129

TALES OF LEGENDIA
テイルズオブレジェンディア
6
藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス
©NBGI

Contents

©NBGI
TALES OF LEGENDIA
テイルズ オブ レジェンディア
6
藤村あゆみ
原作：バンダイナムコゲームス

◇Characters & Story◇

◀セネル・クーリッジ
本作品の主人公で、アーツ系の爪術士。妹を狙う敵から逃れ、彼女を守るために戦っている。

◀シャーリィ・フェンネス
セネルの妹で、煌髪人。強大な力を秘める「メルネス」として覚醒した。

◀ウィル・レイナード
ブレス系の爪術士。ウェルテスの街の博物学者兼保安官。

◀クロエ・ヴァレンス
アーツ系の爪術士。騎士の名門の出身。

▲ノーマ・ビアッティ
ブレス系の自称・すご腕トレジャーハンター。

◀モーゼス・シャンドル
山賊の頭。ヴァーツラフを倒すため、仲間に加わった。

▲不可視のジェイ
アーツ系の爪術士。有名な情報屋として知られる。

▲グリューネ
名前以外の一切の記憶を失った謎の女性。

メルネスとして覚醒したシャーリィは、水の民と行動を共にすることに。爪術を奪われたセネル達は、間一髪で水の民から逃れ街へ戻るが、その街も水の民の監視下におかれていた。そんな中、セネル達は灯台の地下に広がる海を発見したのだが……。

王城
ゴオオオオオオオ
す…
おお…
元創王国の
正統なる継承者
メルネスが
ついに王城の
玉座に…
これより
光跡翼起動準備を
開始する
Chapter.27 真実

Chapter.27 真実
今こそ…世界をあるべき姿に還す時だ

どーんっ
聖爪術じゃ!

聖爪術?
遺跡船に伝わる伝説の爪術のことか?
そうじゃ! ワイはもともとその聖爪術を手に入れるために遺跡船に来たんじゃ!

メルネスが与えてくれるとか万獣の王ゲートに認められることで与えられるとかいろいろ噂はあるがの

その伝説の聖爪術さえあればワイらも煌髪人に対抗できるはずじゃ!!

しかし この状況でメルネスに力を与えてもらうのはまず不可能だろう…
うっ
あたしらの今の力で万獣の王ゲートってのに立ち向かうのも無理があるよねー
ううっ
駄目なんかのう…
ともかく…まずこの地下空間をよく調べてみよう

ザザーン…

しかし…街のほうは大丈夫でしょうか

街の者には煌髪人を刺激しないようにとは言ってあるが…

・・・・・・・シャーリィさん達が何をするつもりなのか…まったくの未知ですからね

急がないと…もし取り返しのつかないことになったら…

！ッ

ジェー坊！

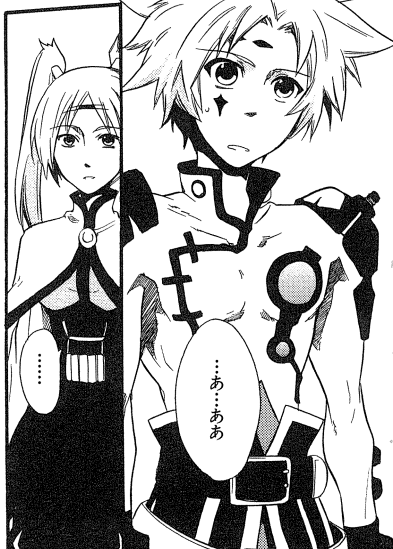
なんですか？

なんですか…ってワレなぁ！

煌髪人がぼくたちに好戦的なことやマウリッツやメルネスに目覚めたシャーリィさんの様子を聞くに

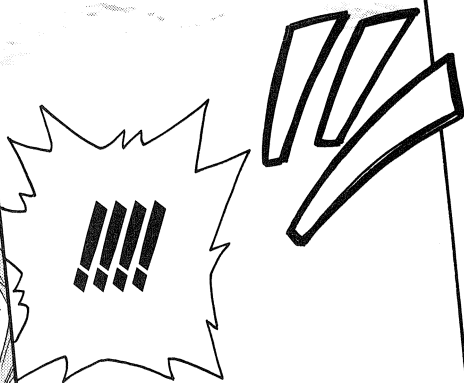
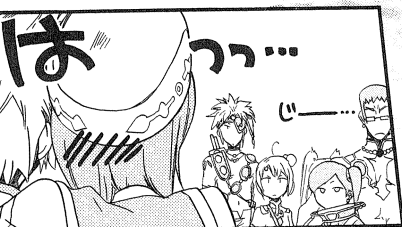
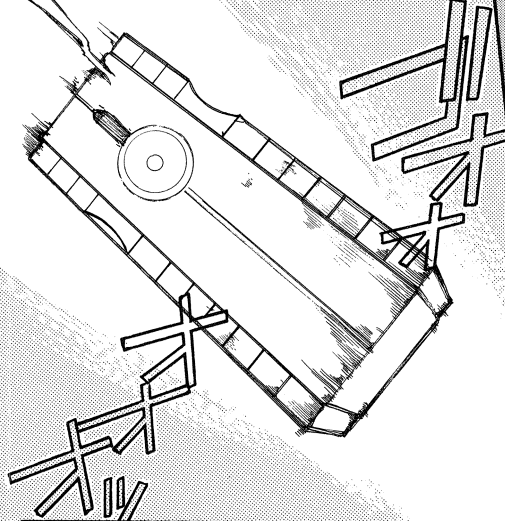
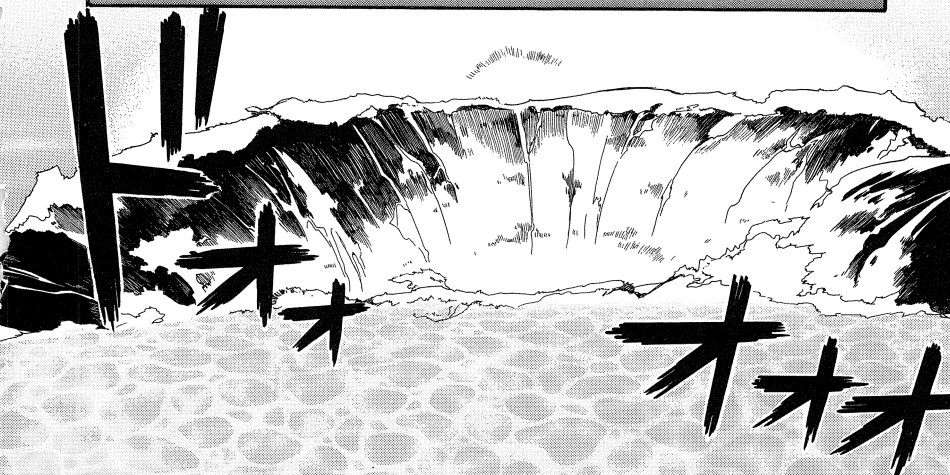
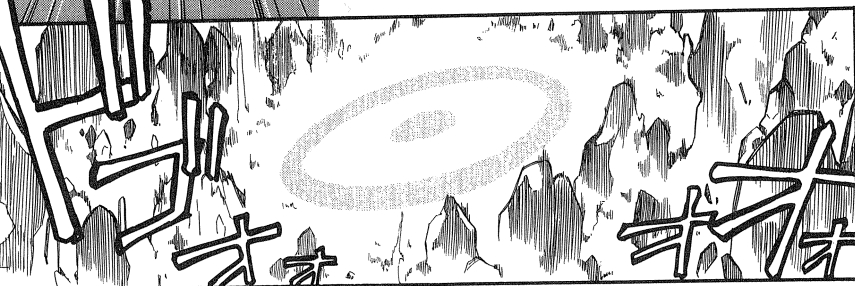
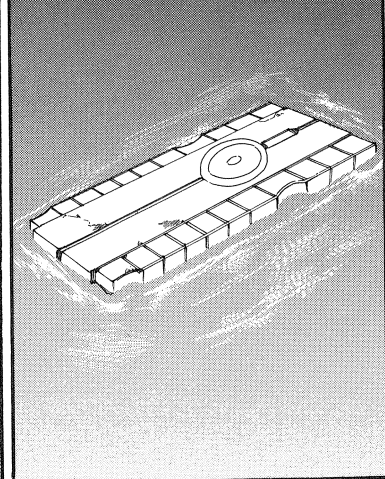
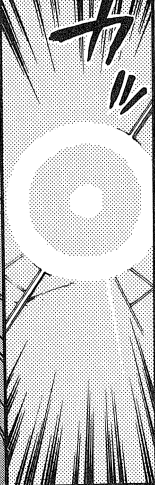
当然の感想だと思いますけど？

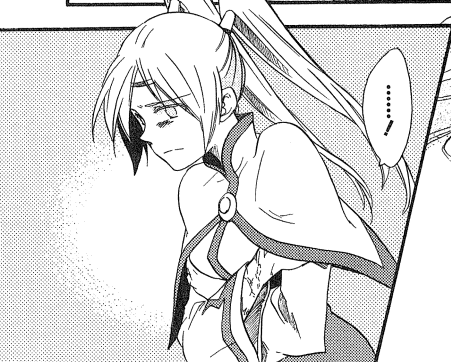
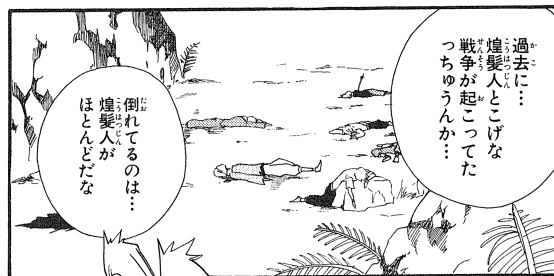
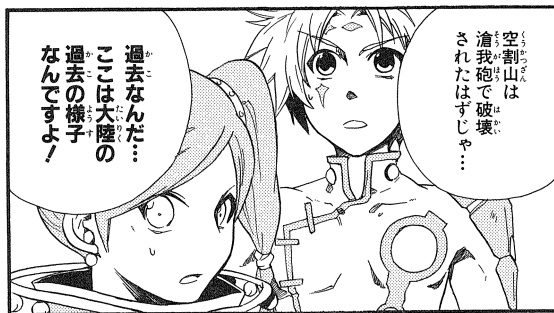
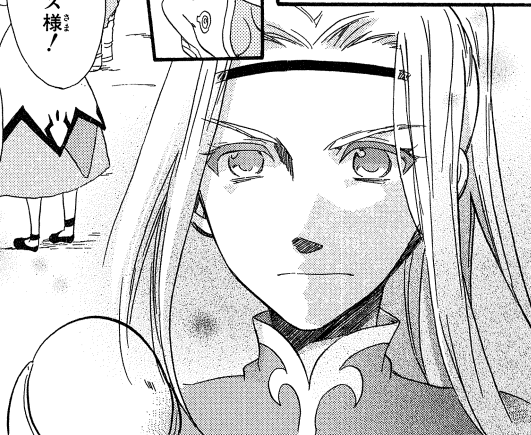
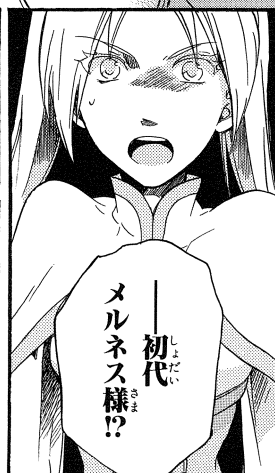
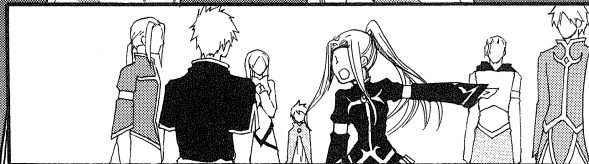
シャーリィが誰かを傷つけるようなことするわけ…

モーゼス…
気にすんな
セの字！
セの字と嬢ちゃんは
血は繋がっちょらんが
立派な家族じゃ！
嬢ちゃんのこと一番
ようわかっちょるんは
セの字のはずじゃ！
ばん
ばんっ
なんも心配
ありゃせん
セの字はしっかり
嬢ちゃんのこと
信じちょれ！
…あ…ああ
……
あれ？
ところで
ギートんは？
おっ おう？
どーこ行ったん
じゃろうな
しっかりして
くださいよ…
モーゼスさんは
ともかくギートは
大事な戦力
なんですから
ワイのどこが
戦力不足
じゃとおォォッ?!
不足どころか
マイナスですね
あれっ？

なんだろ
あれ…
碑版…？
何か…絵が
彫ってある
キ
!!!?
ドッ

パッ
……!?
う…海!?
きゃあああっ
…!?
幻!?…幻だ!!
ひぃいいいいっ
おっ…落ちるううううううっ
クロエ!大丈夫だ!落ちたりしない
え…っ?!
!!!!
はっ…
じ――…
こほん.
す…すまない!取り乱して
ニャニャ

幻…にしても何がどうなっちょるんじゃ…
ゴオオォ
ゴオオオオオッ
──⁉
お…おい
なんだあれは！
!!?
ドエッ
なんか落ちてくるよ‼
ドォォオオオ

ガッ
ドゥオォ
ボフォ
白い物体が…
土に覆われてく…
ゴゴゴゴゴ…
これは…
この形は…
遺跡船だ!!!
オオオオオオ

大昔の…
遺跡船の歴史を見ているのか…？ぼくたちは
でも…どうして？
先程の碑版が関係しているとしか思えんが…
パ
今度はなんだ!?
キ
ー
ッ
陸…？遺跡船ではないようだが…

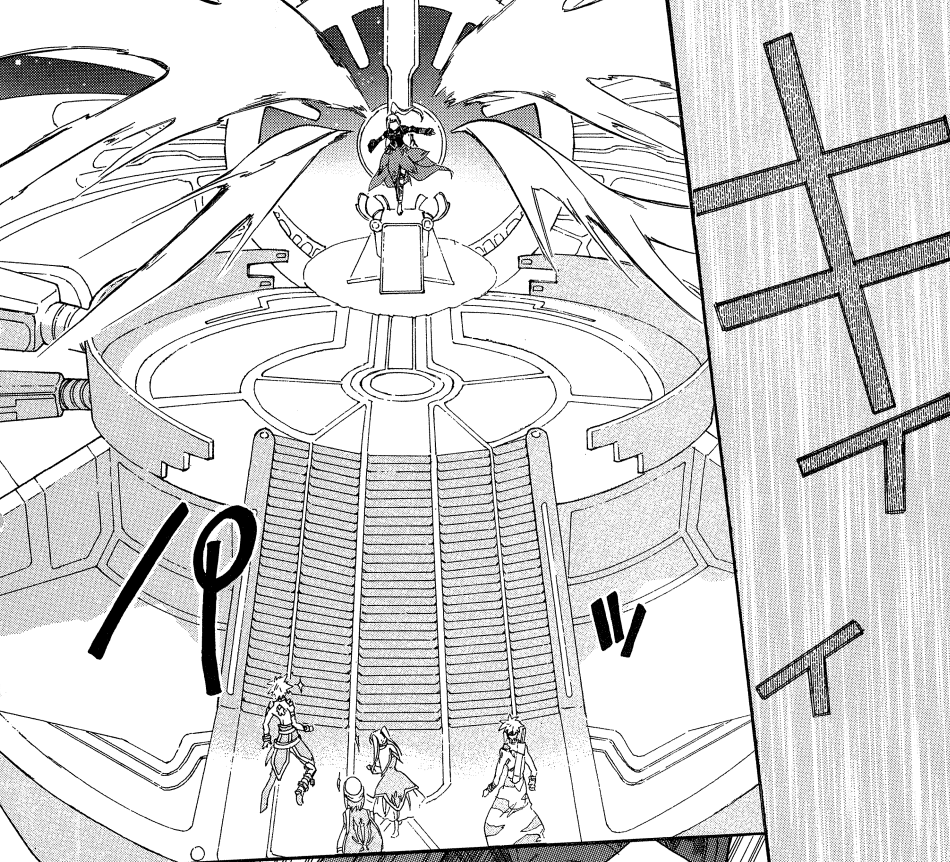
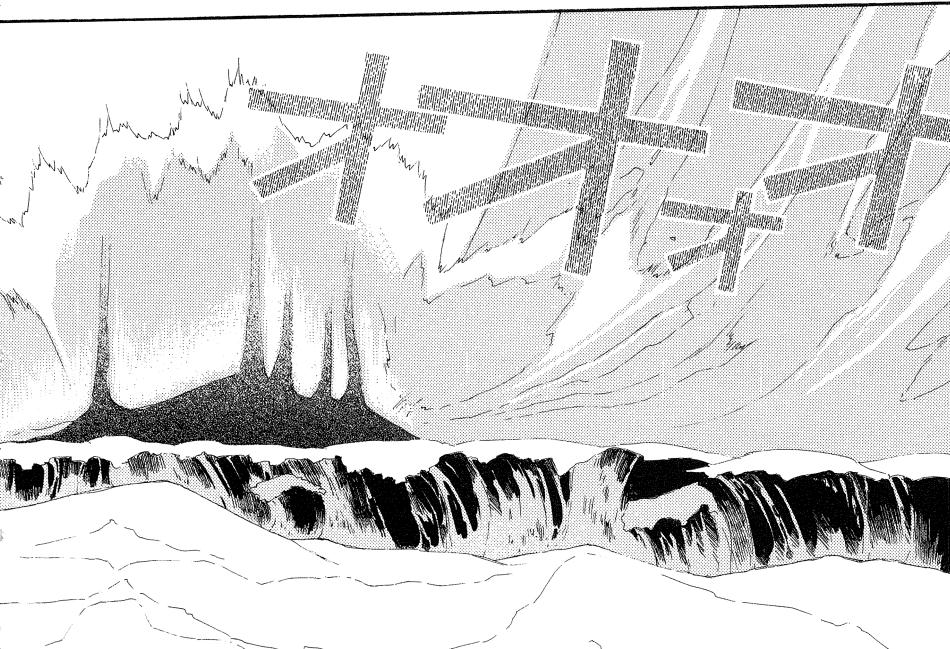
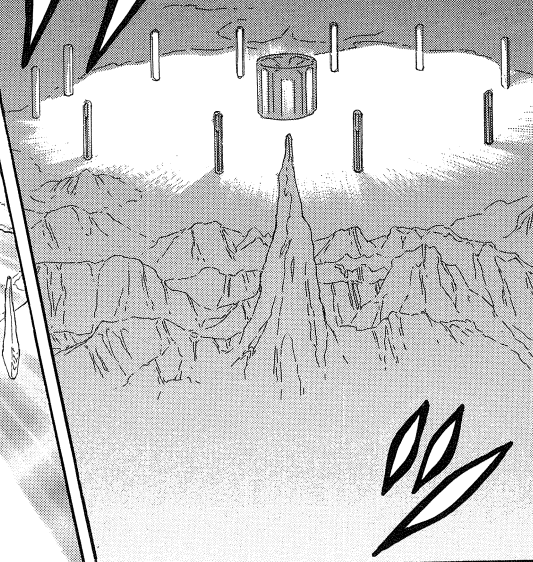
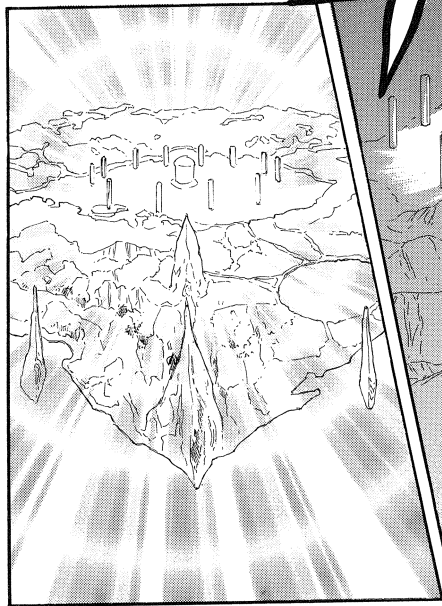
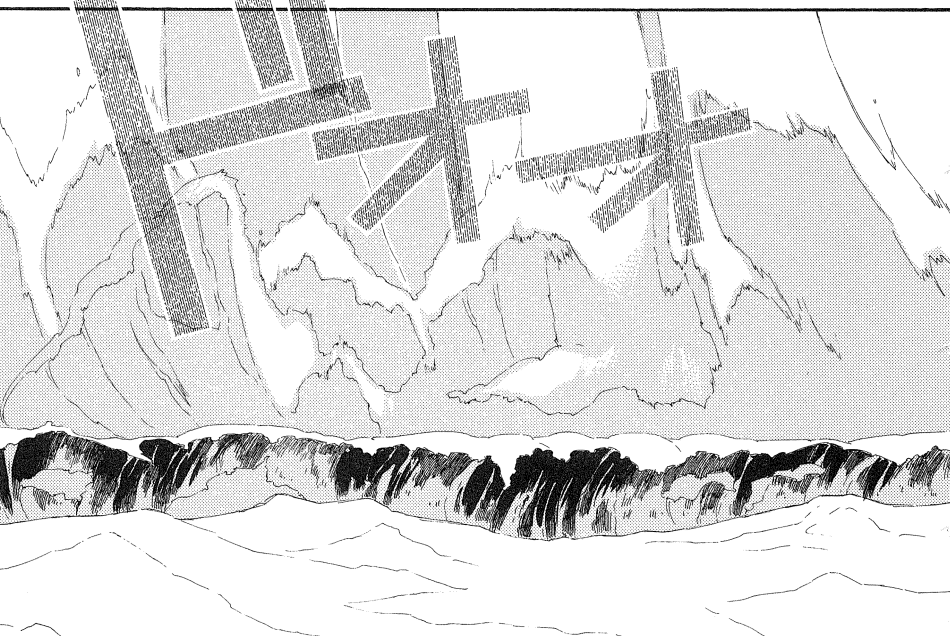
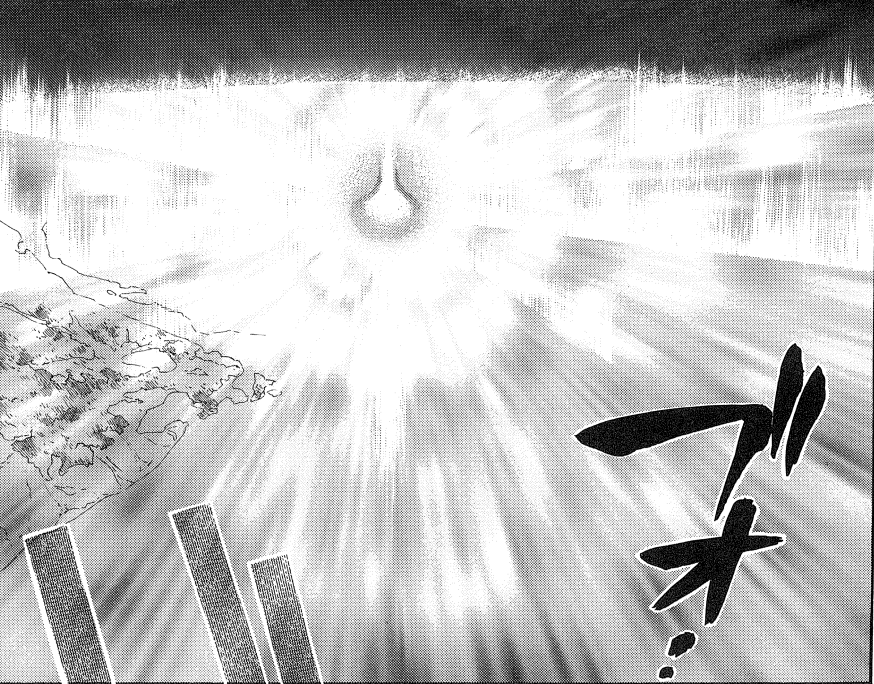
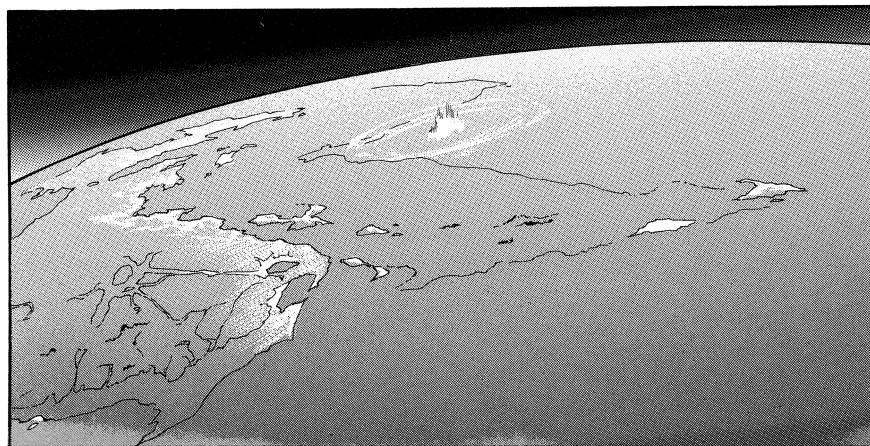
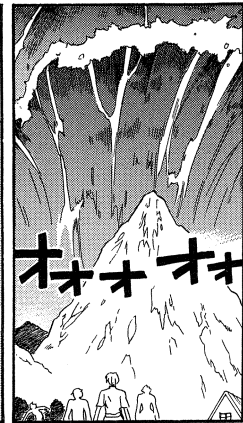
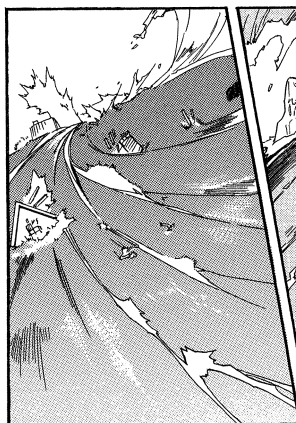
人がたくさん倒れてるんですけど…
まさか大陸にまで⁉
もう煌髪人との抗争が始まってしまったのか⁉
死…？
…！あれは——…
空割山だ‼
ということは…ここはガドリア⁉
空割山は滄我砲で破壊されたはずじゃ…
過去なんだ…ここは大陸の過去の様子なんですよ！
過去に…煌髪人とこげな戦争が起こってたっちゅうんか…
倒れてるのは…煌髪人がほとんどだな
女子供…民間人ばかりじゃないか…！
……！

メルネス様！
メルネス様…
メルネス様！
どうか我々をお救いください
メルネス…？
シャーリィと…同じ服だ
──初代メルネス様!?
なんだって!?
あたしらに気付いてないみたいだね
すべて幻か…

もしあの人が
初代メルネス様なら
ここは4千年
以上前の世界と
いうことになります
4千年前!!?
我が同胞達よ
ここはもう
駄目だ…
幾万の同胞の血を吸った
忌わしき大地と
決別する時が来た
陸の民のくびきを逃れ
──今こそ新たなる
始まりを!!

キキキィィィ
今こそ我「光跡翼」を用い滄我とひとつにならん！
憎き陸の民ども

今――その愚かな存在に粛清を与えてくれる!!

カッ
オオォオ

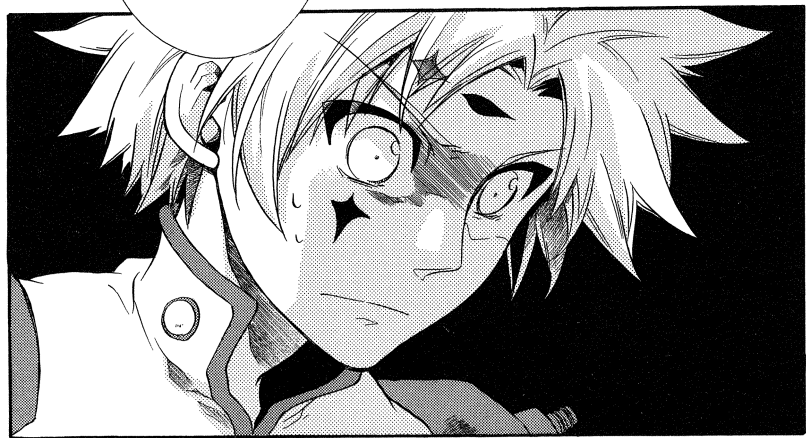
ブオッ
ドオオ

オオオオオォ
オォオオォ

なんという
ことだ…
半分も…大地が
残ってしまうとは…
消える…
我の意識が
溶けて…消える…
覚えておれ…
陸の民ども
次なるメルネスの力で
…今度こそ――
…

ザザー……

──…今見たものが真実なら
煌髪人の目的は…わかりましたね

フェニモールさん…あなたはこの事実を…
知らなかったわ！
知っていたら…シャーリィがメルネスになることをもっと反対してました！

「大沈下」…
大沈下…だよね
あれって…
大沈下って
なんじゃ？
かつて全世界の
大陸の半分が
大洪水に呑まれ
消え去った
伝説の厄災です
変な塔から
どーんって
光が出てたよ
大沈下は
煌髪人によって
引き起こされた
人工的な災害
だったと
いうのか…!?

そして今——…
その大沈下を再びシャーリィさんが起こそうとしている⁉

Chapter.28 家族の絆

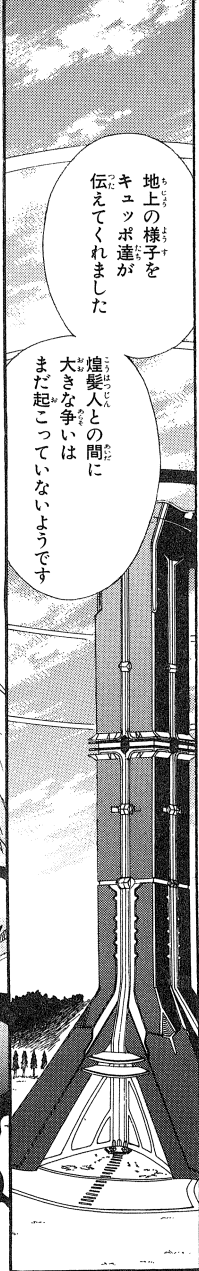
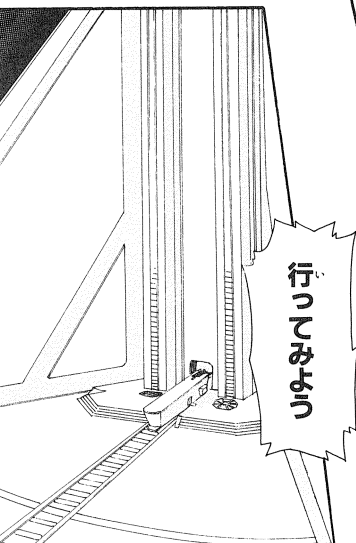
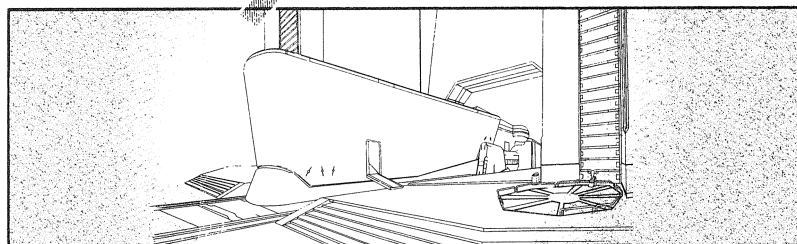
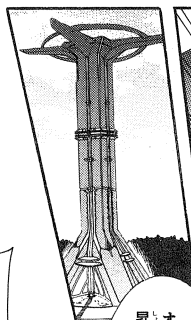
カァァアァァアァッ
Chapter.28 家族の絆

海が光っている…

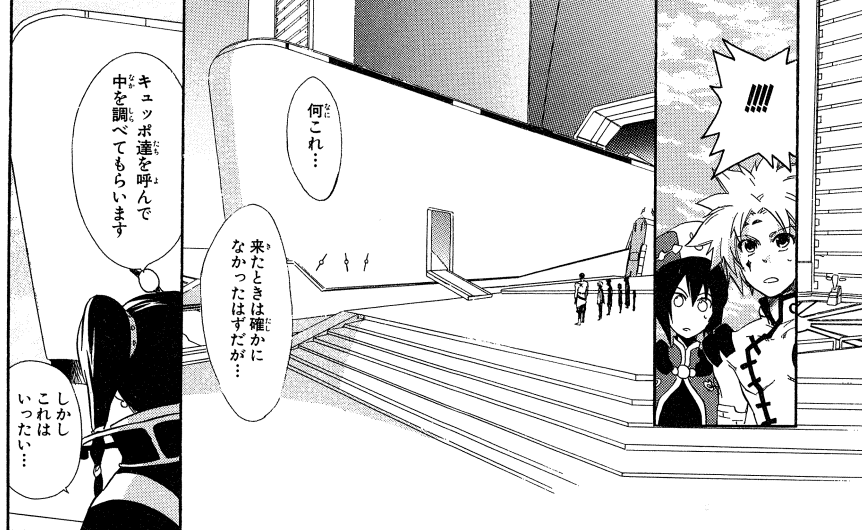
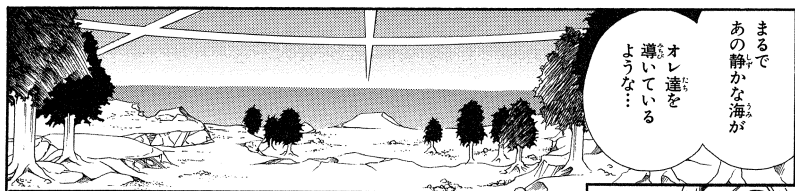
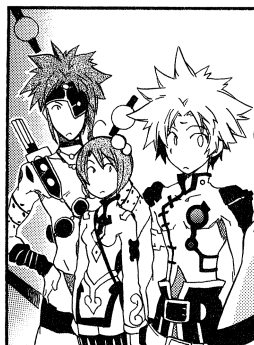
──!?

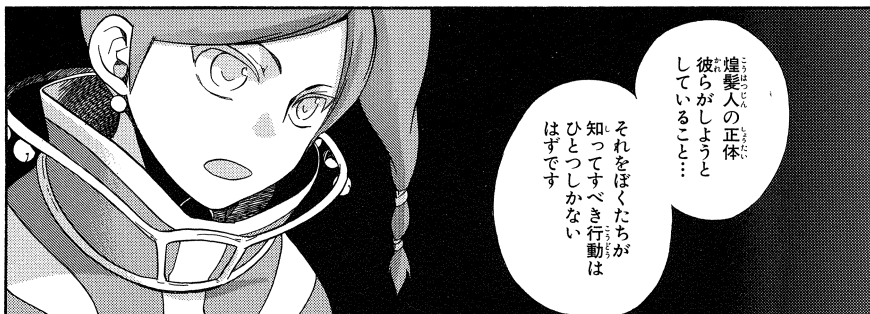
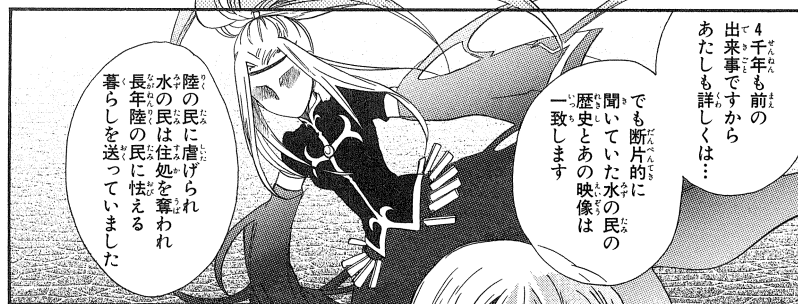
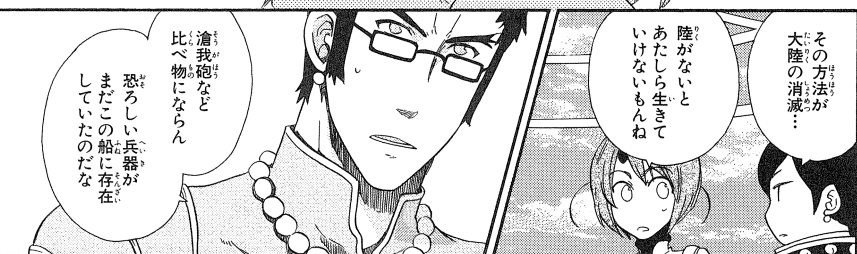
今なにか…

見えたか!?

列車…?のようなものが…

ワイも見えたぞ

オレ達が降りてきた昇降機のところだな

行ってみよう

!!!!
何これ…
来たときは確かになかったはずだが…
キュッポ達を呼んで中を調べてもらいます
しかしこれはいったい…
まるであの静かな海がオレ達を導いているような…
はっ…
あたし達水の民が滄我によって導かれ進む道を決定されると…以前お話ししましたよね
先ほどの映像…あの呼びかけるような光…そしてたった今見えたこの光景!
滄我があたし達を導くときの様子によく似ています

まさか…だとするとあの静かな海は私達をどこかに導こうと…？
にしても～何したいのか全然わかんないよ！
う～～～～っ
なんだかこんがらがってきたぞ～
滄我の声はメルネスにしか聞こえませんから…
あ！メルネスが声を聞けるのは水の民を導いているほうの滄我ですけど…
静かな海
滄我
そうが
メルネス
ねね名前つけようよ名前！
名前…ですか？
そそ！
ふたつあるのに同じ「滄我」じゃまぎらわしいっしょ
確かにな
呼び名を分けたほうが話も整理しやすそうだ
うーん名前か…私はこういうのは苦手で…
はーい
そんな時はあたしにおまかせ！
あたしセンスいーで
あたしらに味方してるほうが「そうがちん」！
怒ってるほうが「そうがぽん」！
ではこの地下空間の海を「静の滄我」水の民を導くほうを「猛りの滄我」としよう
ちゃっ
無視かいっ

静の滄我がオレ達を導こうとしているとして
先ほどからの映像はいったいなんのために見せたものなのだろう
おー っ
なんとなく～くこの変な乗り物に「乗れ」って言われてる気がするけど…
煌髪人の正体彼らがしようとしていること…
それをぼくたちが知ってすべき行動はひとつしかないはずです
彼らを全力で止めることです
フェニモールさん先ほど見た映像の信憑性は？
多分…真実だと思います

4千年も前の出来事ですからあたしも詳しくは…
でも断片的に聞いていた水の民の歴史とあの映像は一致します
陸の民に虐げられ水の民は住処を奪われ長年陸の民に怯える暮らしを送っていました
メルネス様が復活すれば
あたし達を助けてくれるとずっと聞かされていました
その方法が大陸の消滅…
陸がないとあたしら生きていけないもんね
滄我砲など比べ物にならん
恐ろしい兵器がまだこの船に存在していたのだな
おい
やけにみんなさっきから大沈下が起こることを前提に話を進めるんだな
セネル…

メルネスはシャーリィだぞ！
大陸を滅ぼすなんてまねシャーリィができると思うのか!?
そんなこと思いたくないよ…でも…
何か起こってからじゃ遅いんですよ
セネルさん
あなたがシャーリィさんを信じるのは勝手です
でも現に煌髪人はぼくたちに明らかに敵意を見せているじゃないですか
最悪のケースを考えるのは…当然のことです
私をその名で呼ぶな
く…

シャーリィの意志か
どうかに関わらず
本当に大沈下が
起ころうと
しているなら
私だって
黙ってはいない
滄我砲でも
大勢の被害が出た
…もうあのようなこと
二度と起こさせは
しない！
オレも同じだ
それに…
ハリエットの
帰る家は…
まだ…大陸に
あるのだしな
ん〜…
あたしもいちおー
大陸に両親
いるし…
トレジャーハント
続けたいし
ここまでいろいろ
知っちゃって
黙って見てるのも
後味わりー
ってカンジだし…
あたしは今…
水の民がしている
ことが正しいと
思えないんです
こんなの！
あたしが嫌いだった
陸の民がしてきた
ことと何も
変わりません！
シャーリィも…
みんなも
止めたい
ワイは
マウリッツやワの字を
倒しゃあ嬢ちゃんは
元に戻ると
信じちょる！
大沈下など
起こさせんわ！
のう
セの字ー…

……
セの字…
俺はっ…
ポ…
ぱぁああぁあっ
!!?
なんだ!? この光は…
力が集まってくるようだ…
海が光っているぞ
滄我だ! 静の滄我が私達に力を与えてくれたというのか!?
きれいねえ～
なんで?
……

この力があれば地上に出ても煌髪人と対等に渡り合えるかもしれんぞ!?
ヤァアアアアッ
ヒャオオオオオオ
いけるっいけるぞぉ!!
この力でマウリッツもワの字もぶっとばしてやるわぁ!!
…さっそく作戦会議としよう
陛下への報告もあるいったん地上に戻ろう
あの乗り物を調べるのにはまだ時間がかかるでしょうからちょうどいいですね
あーやっぱ介術あると安心するなー
…
ギュ…

ドォォォォン
そりゃ
うっしゃ!
地上じゃ多少力は落ちるがこれだけできりゃ十分じゃ!
こらこら人の家の庭を…
爪術を…使えるようにしたってことは
静の滄我は俺達に「水の民と戦え」って言ってるってことなのか…?
戦うしかないのか?
俺には…できない
ギュッ
クーリッジ…
だってそうだろ!?

ステラが死んだのも
シャーリィがあんな
状態になったのも
全部俺の
せいなんだぞっ

クーリッジ！
それは違う！
違わないさ！
俺が全部
引き金を引いた！
その上シャーリィと
戦うだって⁉

そんなこと…
できるわけ
ないだろ…

ウィルさん‼
タタッ

何事だ
まっ…
魔獣か
街中に…魔獣が現れました‼
!!?

わぁあ

近づくな！
大分興奮
しているようだ
グルルルル
煌髪人の仕業か⁉

う…
チャバ!!
大変だノーマ！
すぐにブレスを!!
どこのどいつじゃ!?
ワシの家族に
こがぁなマネ…
グルルルルルルルルルッ
ギートだって!?
うそ…
なんで
ギートんが!?
ギー…ト…？
アオオオオ
——っ…
ギート！ やめい！
やめるんじゃ!!

ギート!!
ザアアッ
モーゼス!!
ダッ
逃げたぞ
追うんだ
モーゼス!
おい
モーゼス
—!

ふあーっ
爪術戻った途端大仕事だったわねこりゃ
お疲れ様ノーマちゃん
グー姉さんいやして〜
シャンドルの様子はどうだ
まだ眠っている
それにしてもギートはいったいどうしたというのだ
まさか煌髪人や猛りの滄我と何か関係が…？
いえ…
それはないと思います…
チャバ！
起きて大丈夫なのか!?
すいません…
おいら達でギートを止められていれば…

お前も
モーゼスも…
ギートの変わり様に
あまり驚いて
いないんだな…
……

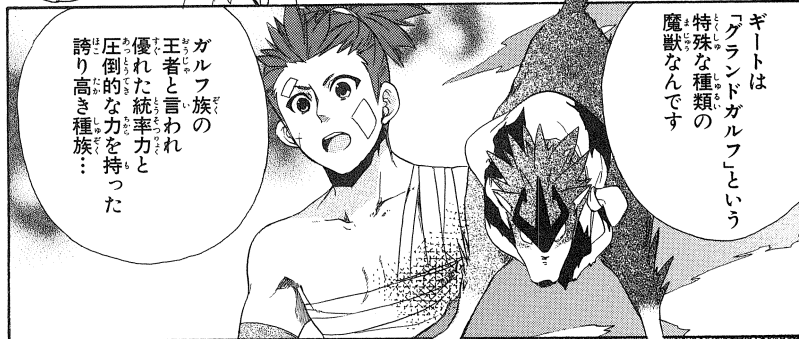
そろそろ
だとは…
思ってたんです
ギートの
「野生化」

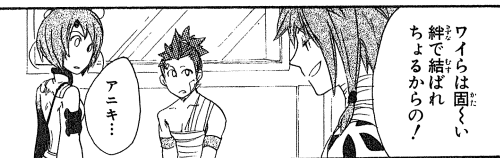
「野生化」？
アニキのように
魔獣と心を
通わせることが
できる人を
「魔獣使い」
と言います

大陸西部の
一部の村落でしか
その技術を持つ
人間はいない
希少な存在です

へーえ！
モーすけってば
案外すごい
やつだったり…？
それで…
「野生化」と
いうのは？

「野生化」は
魔獣使いの
宿命なんです
魔獣が
人と暮らした日々を忘れ
魔獣本来の生き方に
戻ることを言います
人と共に生きる道を
選んだ魔獣は
いつか必ず野生化する
日が来るんです
──ひとつの
例外もなく
人と暮らした
日々を…忘れる!?
ギートが…?
野生化の引き金
としてもっとも多いのは
主との力の均衡が
崩れてしまう
ことです
魔獣の方が
強くなりすぎてしまい
主を主として
認めなくなっちまう…
最近やばいとは
思ってたんです
アニキの爪術が
なくなっちまって…
力の均衡が一気に
崩れちまった

やつが聖爪術とやらを しきりに求めていたのは そんな理由があったのか
シャンドルのやつ そんなの 一言も…
……
ねね ギートんどっか 行っちゃってる けどいいの?
放っておくのかなりヤバいんじゃ…
ギートが野生化 しちまったら 並の人間の手には 負えません
ギートは「グランドガルフ」という 特殊な種類の 魔獣なんです
ガルフ族の 王者と言われ 優れた統率力と 圧倒的な力を持った 誇り高き種族…
そうだな 絶対に人には 懐かないと 言われている
モーゼスが 連れているのを 初めて見た時は 驚いたものだ
ギートんって そんなに スゴかったんだ
昔…おいらのいた集落は たった一頭の グランドガルフによって 半分の人間が無残に 殺されました
あの場でギートのほうが 去ってくれたのは むしろ幸運 だったと思います

野生化した魔獣はその後どうなるんですか？
………連れ添った人間によって殺されるか
連れ添った人間を殺して完全に魔獣としての道を生きるか…
この…二つの道のどちらかです
……!!!
……野生化した魔獣は例外なく連れ合いを襲うんです…
一説には魔獣なりの野生に返るための儀式だろうって…
ギートと戦うってのか!?モーゼスが!?
へ…ヘヴィな話だね…
クッカカカ！心配すんな！

!! モーゼス！
もう大丈夫なのか!?
何が野生化じゃ
ワイとギートなら大丈夫に決まっちょる！
オウ！ブレスのおかげじゃ
ワイらは固ぐい絆で結ばれちょるからの！
アニキ…
でも…でも！そう言って今まで何人もの兄弟が死んでいったじゃないですか！
魔獣使いの宿命なんぞワイとギートが変えちゃるわ！
アニキ！
アニキが一番わかってるはずでしょう！自分達だけは大丈夫だと言って宿命に飲み込まれていった人がどんなにいるか！戦わなきゃ…
ワイらは絶対大丈夫じゃ！
ビクッ

ワイはここでお別れじゃ
すまんの…みんな…
モーゼス…？
ギートのこと宙ぶらりんにして動きまわるんはワイにはできん…
ワイはギートと話をせにゃいかんのじゃ…
アニキ！
いけない！アニキを行かせたら…
うっ…
こらあっ動くなあ！ちゃんと治ってないんだから！
ブレスをかけたんじゃないのか？
けが人多すぎてあたしとウィルっちじゃ限界が…
爪術戻ったのあたしらだけみたいでさ
……ではモーゼスさんは…

モーすけが…
今一番
傷が深いはずだよ
…！
アニキを…
追いかけなきゃ！
だ〜も〜！
ケガ人は寝てろーっ
い
すっ
チャバさん
モーゼスさんを追って
…どうするつもり
なんですか？
止めるつもりですか？
野生化したギートを
このまま放っておけと？
……
みなさんは
アニキの
左目の傷の話
ご存知ですか…？
いや…
あれは…
アニキとギートの
絆の証なんです

こら
チビすけ！
待たんかい

今日こそ
捕まえちゃる

アニキは子供の時から魔獣と臆することなく接していました

中でも一匹のグランドガルフをとても気に入りよく追いかけっこをしていました

だめじゃ…まったく追いつけん…

チビすけっ

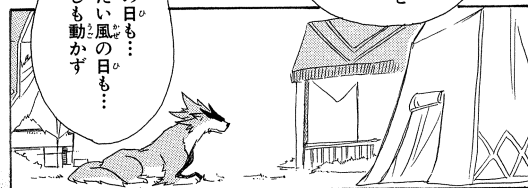
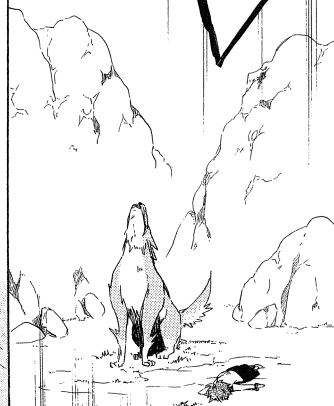
どこじゃー

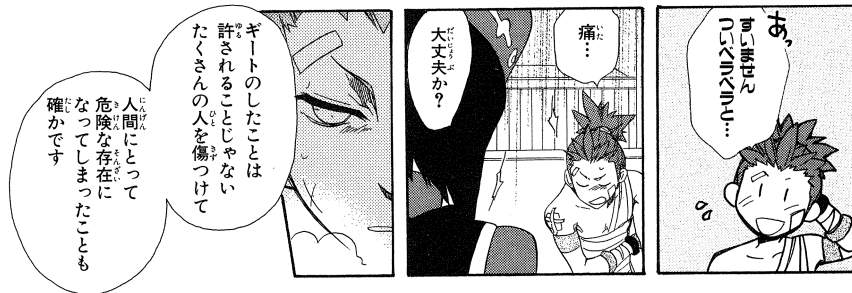
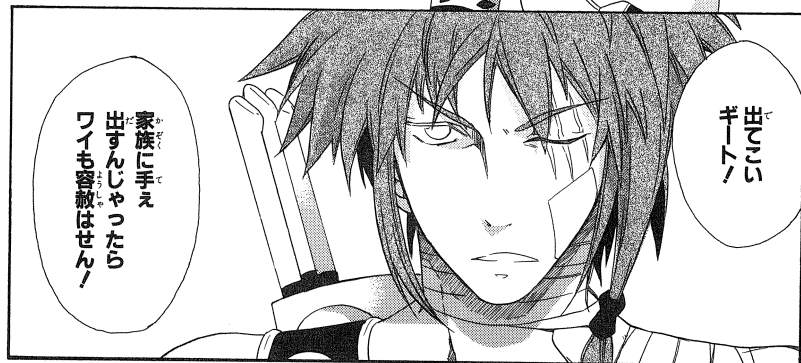
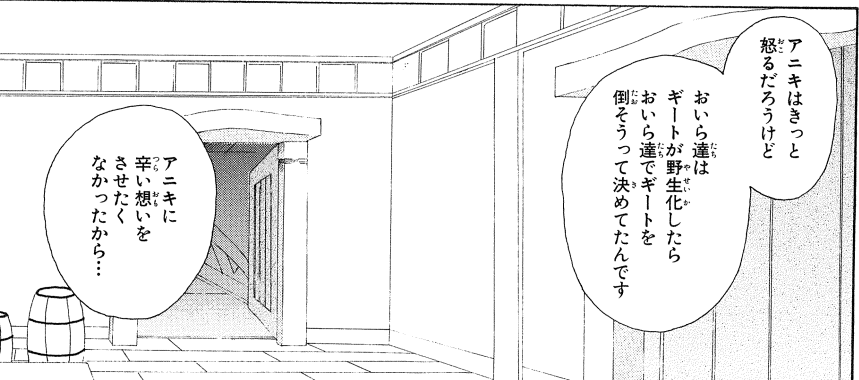
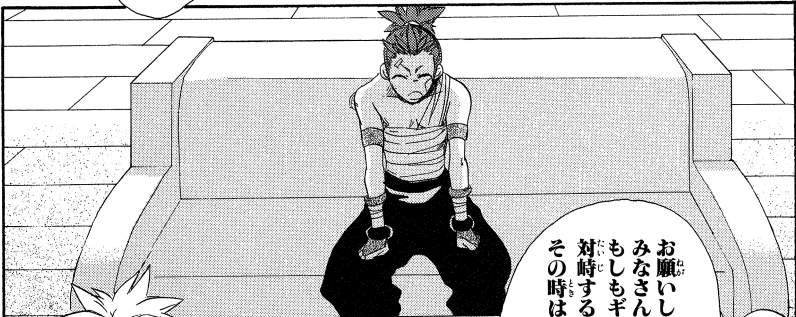
そんなある日…

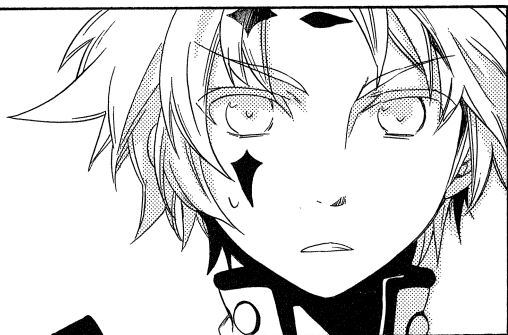
グルルル
グルルル
クウ〜ン…
なんじゃワレら！
チビすけはワイと
遊んどるんじゃ！
バッ
ガルルアァッ
!!!
どりゃあっ
ガァァァ…
ガルァアッ！
ガッ
!!!
ズシャアッ

ぐぎゃああああ
あああ…
ボタ
ボタ
ボタ
なに…
しとるんじゃ
今のうちに…
逃げるんじゃ
ヨロ…
ブル
ブル
はよ走れ！
全力で逃げる
んじゃ！
タッ
くそ…
血が止まらん…
何も…何も見えん
…くそったれが…！
ヘラ
ヘラ

ヨロ
ビュッ
カーン
だめじゃ 距離が わからん…
ゼェゼェ
いかん…視界も ぼやけて…
ボヤァ
チビすけ!?
ブルブル

アオオオオオン!!!
ギートはその場にいた魔獣を倒しアニキを村まで運んでくれました
アニキは三日三晩眠り続けその間ギートはずっと家の前でアニキが目覚めるのを待っていたんです
雨の日も…冷たい風の日も…少しも動かず
アニキが目を覚ました朝に鳴り響いたギートの喜びの遠吠えを

おいらは一生忘れません
それからはアニキとギートはずっと一緒でした
遊ぶときも食べるときも寝るときも
アニキは本当にすごい人で…！
モーゼスが山賊たちに慕われる理由はそこにあるんだな
はい…
魔獣使いにとって二人の姿はもっとも理想とする形なんです
それだけじゃありません
集落の人々はグランドガルフであるギートの野生化を恐れ
アニキは集落の家族から選択を迫られましたギートを捨てるか集落を出ていくかの

アニキは一瞬たりとも迷わずギートと村を出ました
アニキは…アニキは本当にギートのことが大好きなんです！
シャンドルらしいな
あっすいませんついベラベラと…
痛…
大丈夫か？
ギートのしたことじゃない許されることじゃないたくさんの人を傷つけて
人間にとって危険な存在になってしまったことも確かです
アニキが…きっとそれを一番よくわかってるはずです
おいら達にアニキを止めるなんてできません
だから…おいら達は…
……
…皆さんに…お願いがあります

ギート…
懐かしいのう
ガキん頃は
よう追いかけっこ
しとったもんな…
聖爪術は
手に入らんかったが…
力が戻っちょって
幸いじゃったわ
出てこい
ギート!
家族に手え
出すんじゃったら
ワイも容赦はせん!
アニキはきっと
怒るだろうけど
おいら達は
ギートが野生化したら
おいら達でギートを
倒そうって決めてたんです
アニキに
辛い想いを
させたく
なかったから…

お願いします
みなさん…
もしもギートとアニキが
対峙することがあったら
その時は…

ギートを
皆さんの手で——…

Chapter.29 別れ

出てこいギート

…野生化じゃろうが
なんじゃろうが
家族を傷つけちょいて
逃げ隠れたぁ
いい度胸じゃ

さや さや…

戦うしか…

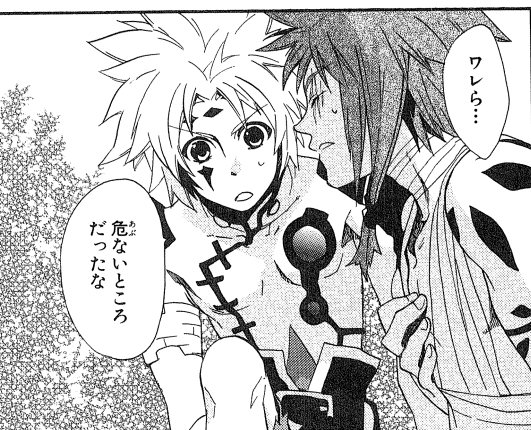
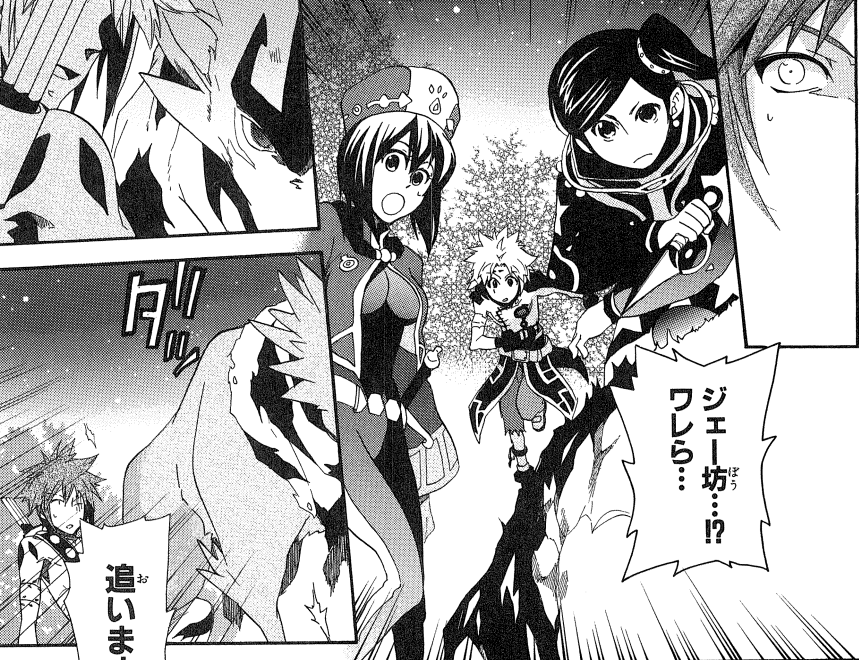
戦うしかないんじゃ…
ワイの手で止めちゃる
ギート

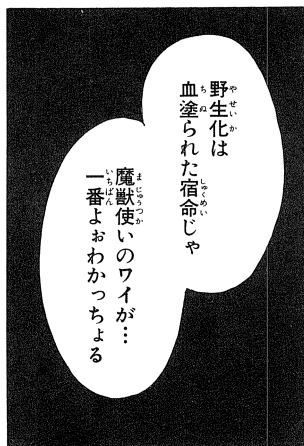
ググ…

ガサッ

ギート…！
サク…
クゥン
ギート！
まさか…元に戻ったんか⁉
ガ‼
ヤッ
！

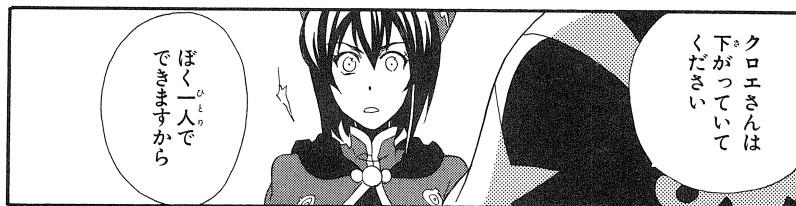
ガルルアァ
!!
ズキッ
クッ…
ビュッ
ビュ
ビュ
ガッ
クッ…
ザザ
!!?
ヤアアァ
バリバリバリッ

ジェー坊…!?
ワレら…
ダッ
追います
待てジェイ!
タッ

ワレら…
ワイとギートに構ってる場合と違うじゃろ
モフモフ達が列車を調べてくれるのにまだ時間がかかるんだってさ
それに
今 地上で爪術を使えるのは俺達だけだ
「モーゼスさんの手も借りたいとはまさにこのことです」って
へっ
とことん口の減らんガキじゃの
ウィルとノーマはブレスの力が尽きてて足手まといだろうからって残ってる
あとグリューネさんも
…そうか…
ヨロッ
お…おい！
もうやめろ！その傷じゃあ…
ワイが…
ワイがケリをつけなアカンのじゃ
じしゃ。

モーゼス！
ケリって…ケリってなんだよ
自分の手でギートを殺すって言うのか⁉

そんな連中をたくさん見てきたんじゃ！
ワイだってなぁ…
ずっと…集落を出てからずっと
宿命を乗り越える方法を考えちょった！
…じゃがっ…
答えを出せないまま野生化の日を迎えてしまったわけか…
モーゼス
たくさん悲しい別れをしている人達を見てきたんだろ
それでもお前が魔獣使いになったのは…どうしてなんだ
……セの字
ワレはいつか別れるかもしれんと思いながら友達を作るんか？

いつか離れる時が来るとわかっちょったら
目の前のモンをはじめから拒むんか
違うじゃろ…
違うんじゃ
ギートはのう
グランドガルフのくせに甘えん坊で臆病で
ガルフの王者が聞いて呆れるようなやつじゃった
けどのう…ワイを守るために牙を剥き魔獣と戦ったんじゃ
ワイは薄れる意識の中…ギートのその姿を見て思ったんじゃ
こいつ以上にかっこいいガルフはおらんと

こいつと共に生きて行きたいと
…強く思ったんじゃ…
だったら
だったらやることはもう決まってるじゃないか
最後まで共に生きることを諦めちゃだめなんだ

こんなところでモタモタされては困るんですよ

クロエさんは下がっていてください

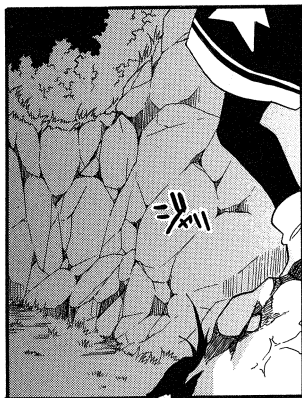
ぼく一人でできますから

何を言っている！ お前一人に辛い役目を負わせるわけには…

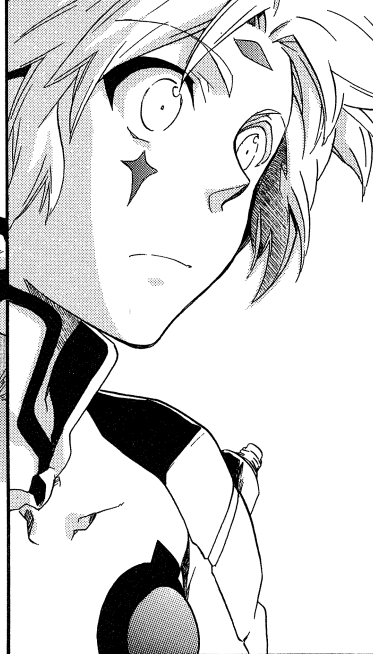
辛い？ 何故です？

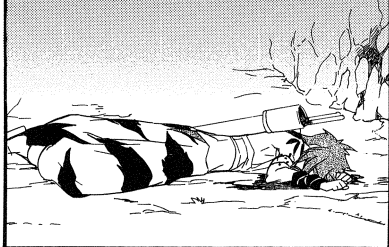
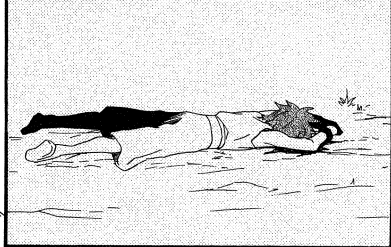
このまま魔獣を野放しにしておけば遺跡船に住む生き物たちにも影響が出ます

当然の処置でしょう

――？
ジェイ！お前！
本気で言っているのか!?
行きますよ
……
ジャリ
ヤガッ
!?
ガンッ
ヘミ。。
ウウウウウ…
ヤゼ

ギート…
何を…
ガッ
ガガン
自分で…自分を
傷つけて…!?
——…っ
戦っているんだ
ギートも…
自分の中の
野生の血と…
……
あるいは…仲間を
手にかける前に
自分自身を…
ガガッ
……
一刻も早く
楽にして
やりましょう
ジェ…ジェイ
待——っ

やめるんじゃ!!
シャンドル!?
…来ては駄目だ!!
ピクッ
ギートォ!!
何しちょるんじゃ
諦めんな!
魔獣の血がなんじゃ!
野生化がなんじゃ!
ワイと…
ワイと過ごした
日々を思い出すん
じゃ!!
ワイとの思い出は…
ワイとギートの思い出は
それっぽっちのもん
じゃったか!?
本能に負けるほど
ちっぽけなもん
じゃったか!?

ガァアッ
モーゼス!!
ドカッ
ボタボタッ
セの字…
黙って見ちょれ…
ワイは
諦めんぞ!
血なんぞ関係ない!
宿命なんぞ関係ない!
ワイらは
本当の家族に
なれるはずじゃ

ギリ ギリ ギリギリ
目え覚まさんかい…
ギート…
ワイとの出会いを
思い出せ
ワイを守ったことを思い出せ
ワイを待ってたことを思い出せ
バカなやつじゃのう…
ずっと待っちょったんか?
寒かったじゃろ
ワイと遊んだことを思い出せ!
ワイとメシ食ったことを思い出せ!
ギート…すまん…
メシを横取りして
悪かった…
ワイとケンカしたことを思い出せ!
明日はワイのを
わけちゃるけんのう…
ワイと仲直りしたことを思い出せ!

7年間片時も離れず
ワイと一緒だったことを思い出せ
モーゼス!!

!!
も…もう
見ていられない！
待てクロエ！
様子が…

ぐぐゥ…!
ギートが…
正気に戻った…!?
よかった…
よかった…
ゆらっ
ギート…?

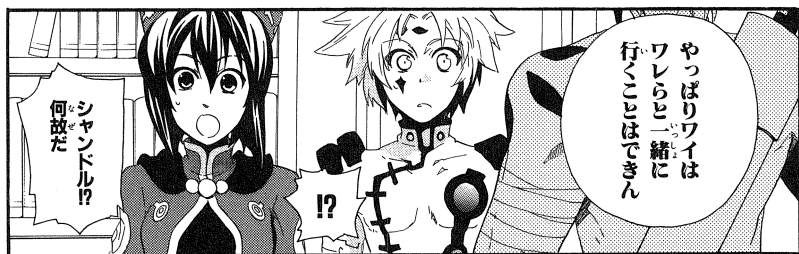
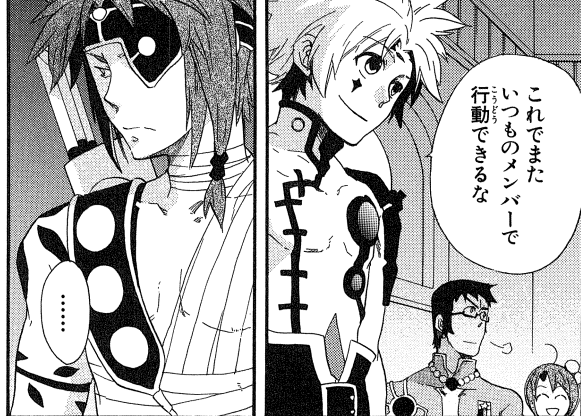
…へへ…
あったかいのう
あの時と…
おんなじじゃ…
しっかり自分に
…勝ちおった…
さすが
ワイの親友じゃ
これからも
ずっと一緒じゃ…ギート…

今回はなんとか
なったが…
ギートの野生化が
止まったわけと違う

根本的な解決には
まだなんも
なっちょらん

ギートがまた野生の血に
のまれそうになった時…
なんとかできるんは
きっとワイだけじゃ

じゃが

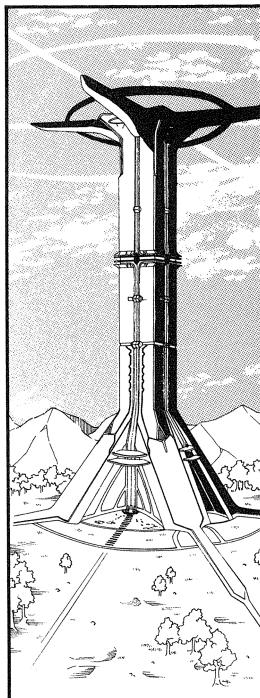
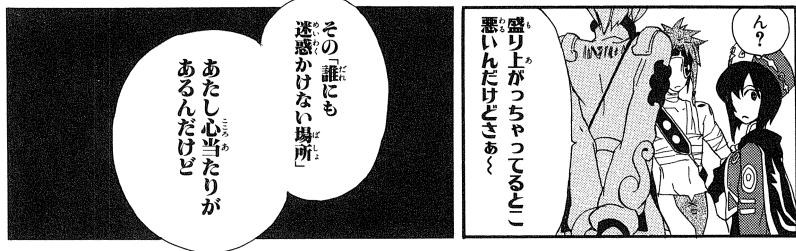
こげな状態でギートを
ワレらに同行させるんは
もちろんできん

かと言って
ギートを野放しにして誰にも迷惑かけん場所なんて存在せん…
ギートを…放っておくなんてやっぱりワイにはできんのじゃ…
そんな…
お姉さん寂しいわぁ
モーゼス…
本当に…お別れなのか!?
悪いのうセの字
ワレの言葉がなかったら…ワイはあのままギートと戦っちょったかもしれん…感謝しちょる
野生化の件が解決したらすぐにでも駆けつけるからの!
セの字
嬢ちゃんのこと…諦めたらいかんぞ!
──…
…ああ!

あ〜の〜〜…

ん？
盛り上がっちゃってるとこ悪いんだけどさぁ〜

その「誰にも迷惑かけない場所」
あたし心当たりがあるんだけど

こっ…この地下空間か！
確かにここなら人もいないし広さも十分だ…

もちろん！みんな気がついてたよね？？
ついさっきまで探索していた場所ですもんね
忘れようがありません
な〜んかみーんな今生の別れってかんじでいよーに盛り上がってたけどさぁ〜
悪かった…私達が悪かったから…
もうそのへんにして下さい

野生化の解決法が
見つかったら
またここでギートと
再会すればいい
煌髪人との件が
落ち着いたら
オレ達も協力しよう
ギート
…一時お別れじゃ
次会った時に
ワイの顔
忘れちょったら
許さんからな！
アオオオオオン
絶対…
絶対迎えに
来るからの!!

ジェイ～

ぱたぱた

あの列車の動かし方がわかったキュ！

どこに通じているのかも！

本当かい!?
ありがとうポッポ！

うわっ
なにこのモグラみたいな装備のモフモフは…

ポッポだキュ！

モフモフ兄弟の三男だキュ！

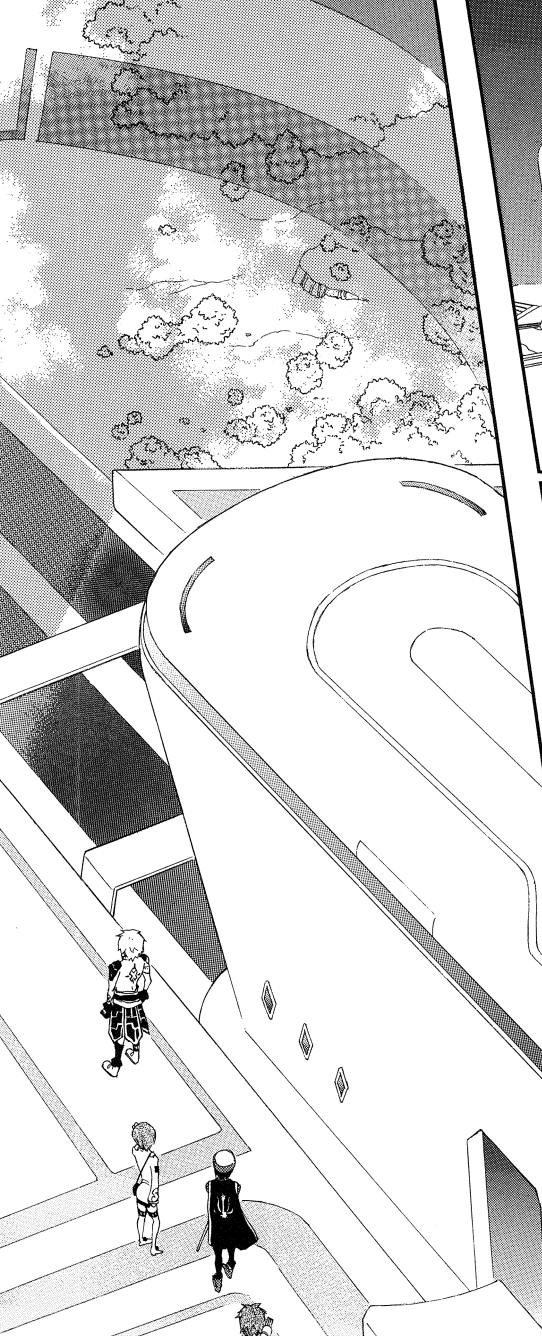
三兄弟…!?

1st

2nd

Brother

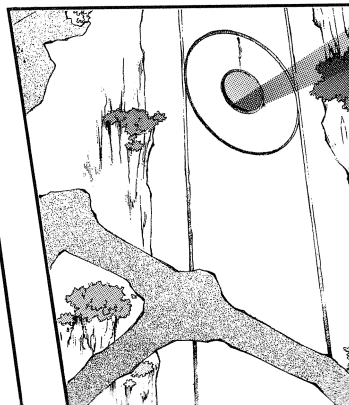
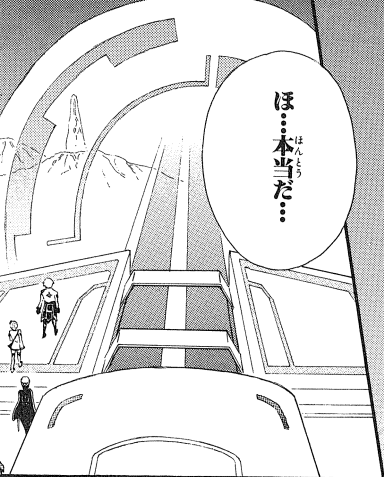
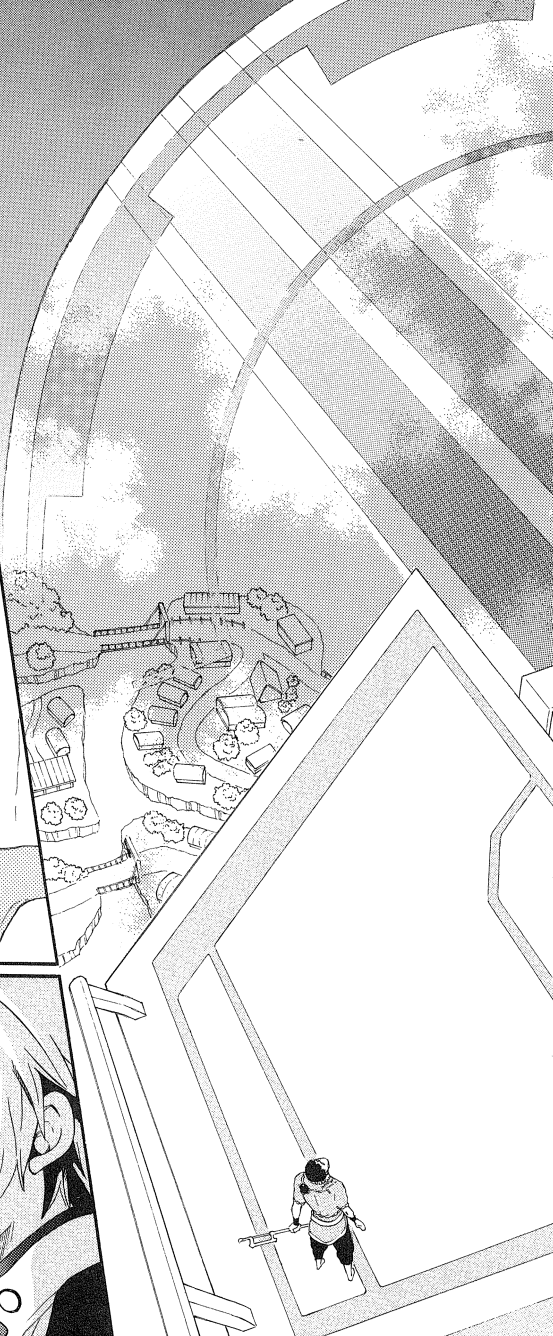
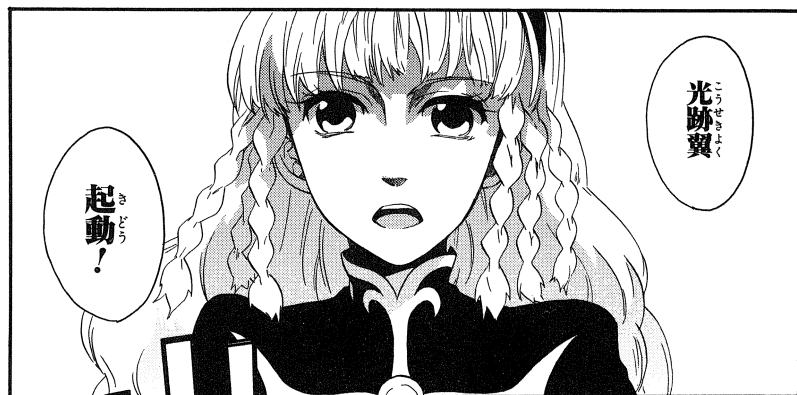
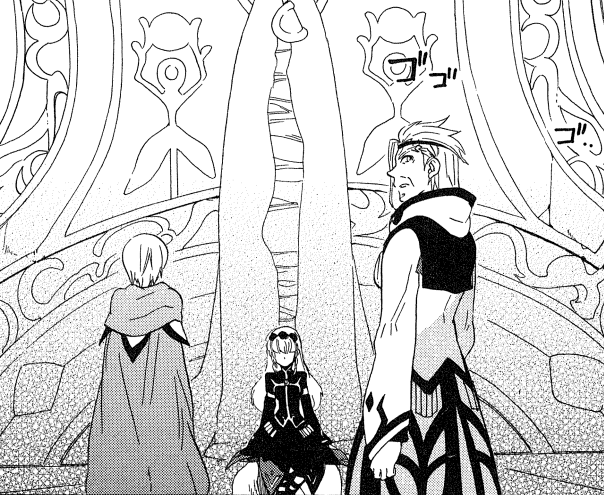
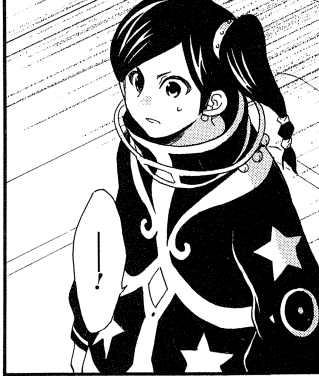
ポッポはモフモフの中でも特に機械に詳しいんです

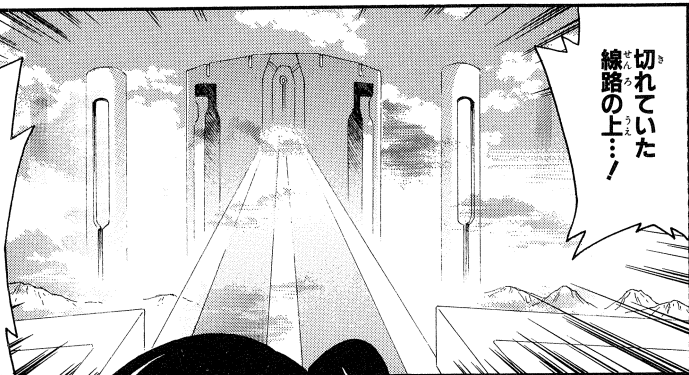
で どうだった?

この列車線路が地上にまでのびているんだキュ
へえ
ただその先が…
線路はあるみたいだけど線路の先には何もないんだキュ…
何もない？
とにかく…地上に見に行ってみないか

ほ…本当だ…
途中で道が途切れている!?
というか…

ヒュオォォオォ
線路が…空を走ってるように見えるのは気のせいか…？
気のせいじゃ…ないよね…
これに乗れと…静の滄我は言っているんだよな
本当にワイらの味方なんか？
……
うまくいけばシャーリィさんたちがいるという「王城」に続く道になるのではないかと思ったんですが
!?
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴ

ゴゴゴ
ゴゴ
ゴ…
ゴゴ
光跡翼
起動！
ギィィィ
バァ

ゴゴゴゴゴゴ
ゴゴ
な…っ

ゴゴゴ
あ…あれ…
地下空間で見た映像と…同じ…
大沈下を起こす兵器
——光跡翼！

切れていた線路の上…！

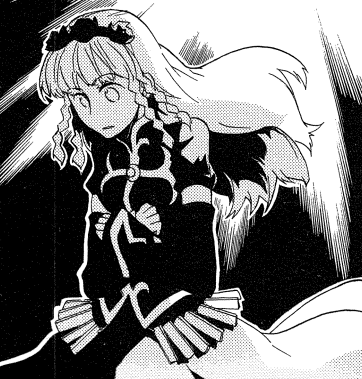
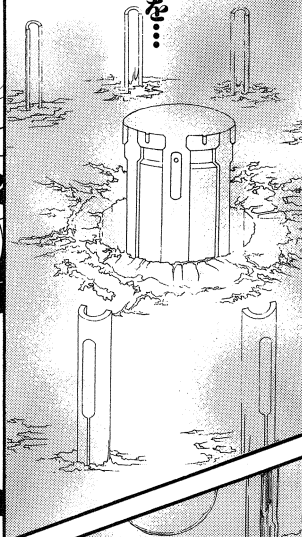
光跡翼に続いてます!!

兵器の中に!?
…ってことは

もしかしたら装置を中から止められるかもしれん！

急ぎましょう

考えている時間はありません！光跡翼の中に潜入します!!

Chapter.30 相違(そうい)

何を…
わたしは…何をしようとしているの…？
嫌…怖い
怖い
怖い
お…
にー…
何を恐れている
はっ

滄我…
わたしは…あなたは恐ろしいことをしようとしています
──恐ろしい？我々の積年の望みが今叶おうとしている
陸の民を排除し我々の平穏な世界がやっと訪れるのだ
何を恐れる…
陸の民を排除…
忘れたのか？
陸の民どもの数々の所業
我が意志と一体となった今お前にはすべてが見えているはず

……

どうしたというのだ？
お前は我の意志と
同調していたはず…

怯えることはない
憎しみに身を
委ねるがよい

まさか君が
クルザンド王統国の
スパイだったとはな

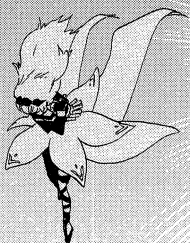
さあ…
我の言葉どおりに…

そうすればお前も
すべての苦しみから
解放されるのだ

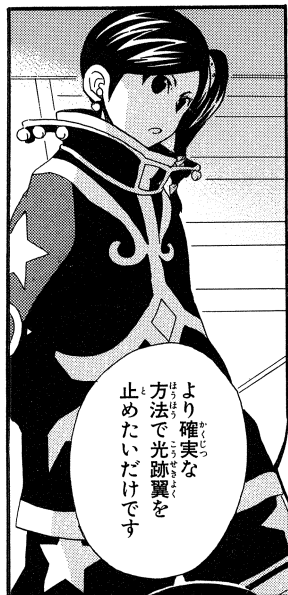
ゴオオオ
かー…
ぐおー…

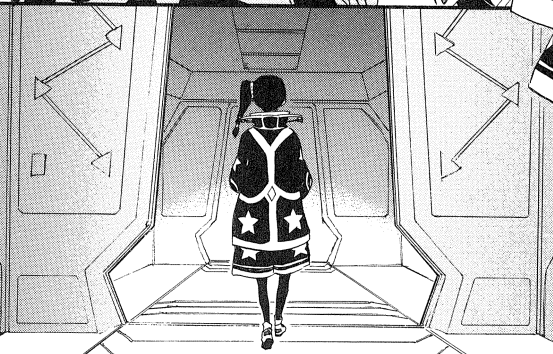
ゴオオオ
…よしっと
あとは自動で行くみたいだ
ジェイ

クロエさん
まだ寝ていて構いませんよ
今のうちに体力を…
どうしても一言謝っておきたくてな
謝る?

先ほどのギートの件で…
ジェイがギートを殺してしまうものと早とちりを…
ジェイは地下空間にギートを放てばいいとわかっていただけだったのだな

……
殺したほうが早そうなら
そうするつもりだったんですけどね
…!?
ちょうどいいや聞いておきたかったんです
クロエさん
な…
クロエさんは…シャーリィさんを殺す覚悟がありますか?
先ほどフェニモールさんが遺跡船付近の煌髪人が光跡翼の中に集まってきていると教えてくれました
煌髪人の滄我…"猛りの滄我"の導きによるものでしょう

シャーリィさんもまた
ぼくたちと同じく
光跡翼に向かっています
何…!?
恐らくですが
シャーリィさんがもといた「王城」という所は光跡翼を「起動」させる場所で
実際に「発動」するためには光跡翼の中に行く必要があるのかもしれません
他の煌髪人たちが集まりつつあるのは兵器の余波を避けるためと思われます

光跡翼を中から弄って止めることと
発動の鍵となるシャーリィさんを止めることと
どちらが確実か…

必要なら…
シャーリィを殺せというのか⁉
そんなの…
より確実な方法で光跡翼を止めたいだけです
真実を知っているのは僕たちだけ
爪術で煌髪人に対抗できるのもぼくたちだけ…
失敗は許されないんです
……
ハッキリ言いましょう
セネルさんではシャーリィさんを殺すことはできません
それどころかその邪魔をするかもしれない

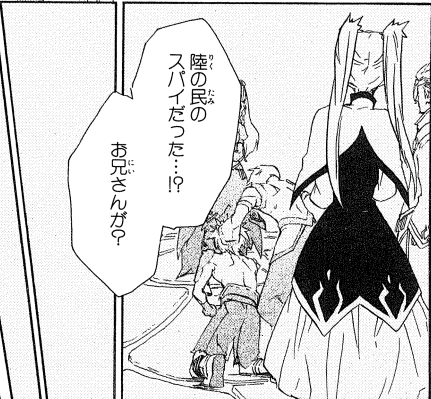
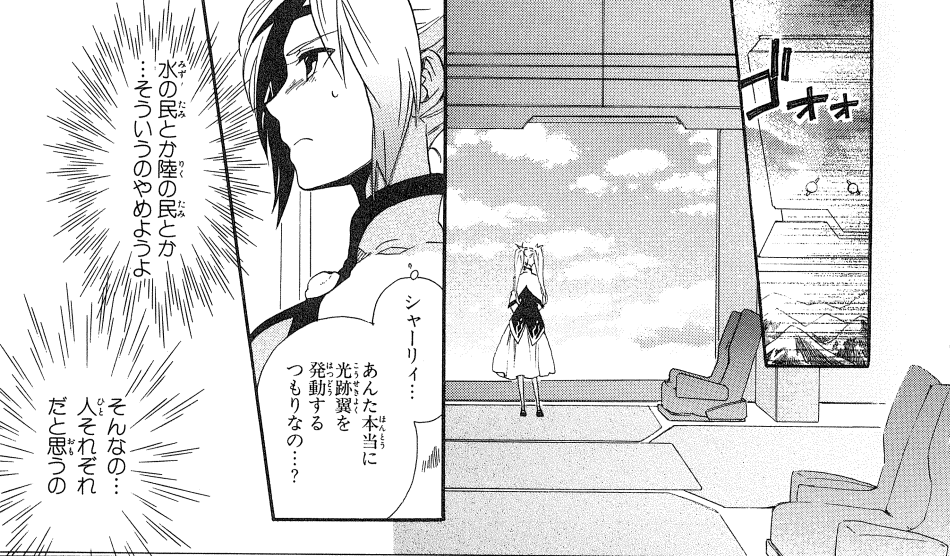
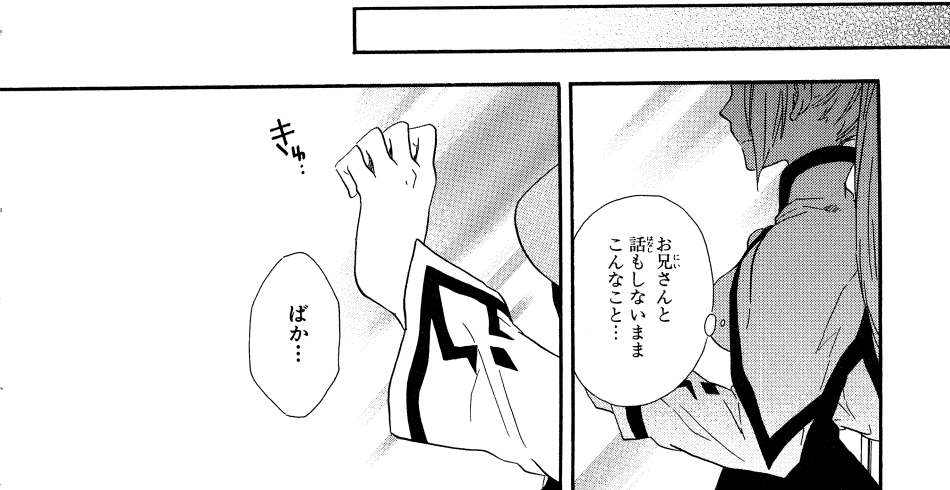
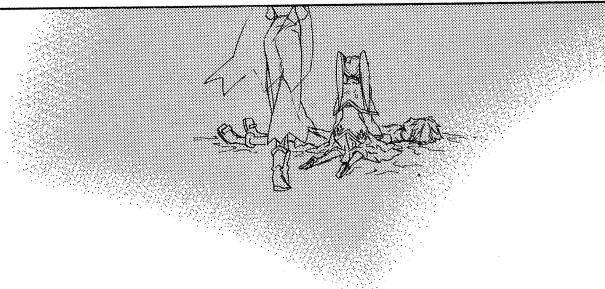
クロエさんにできないのならぼくがやりますから大丈夫ですよ
ただあらかじめ言っておきたかったんです
あなたとモーゼスさんはセネルさんの次に邪魔をしてきそうなので
ジェイ!
…っ
本気なのか…!? ジェイ!
ジェイちゃんは優しい子ねぇ

グリューネさん

誰だって…嫌なことは嫌ですもの

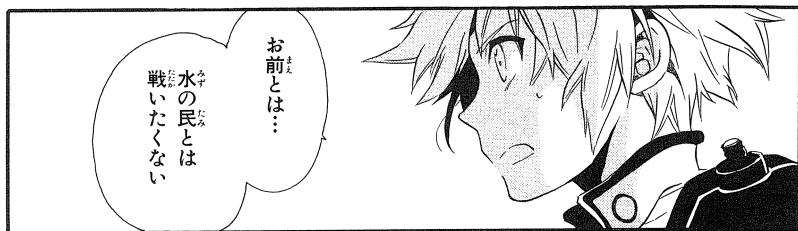
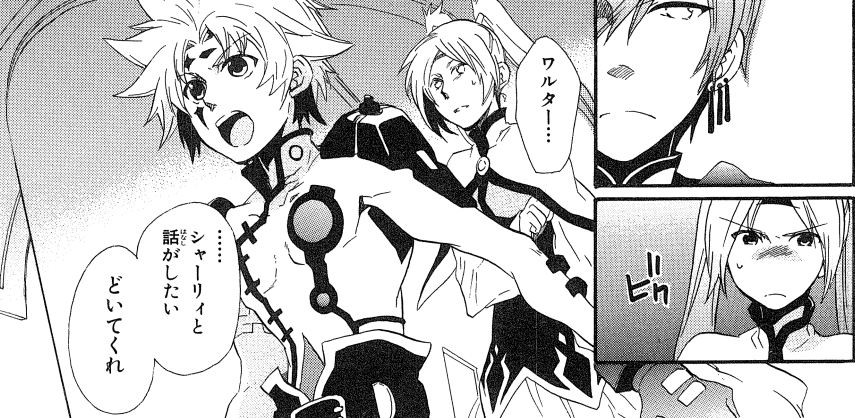
だからジェイちゃん

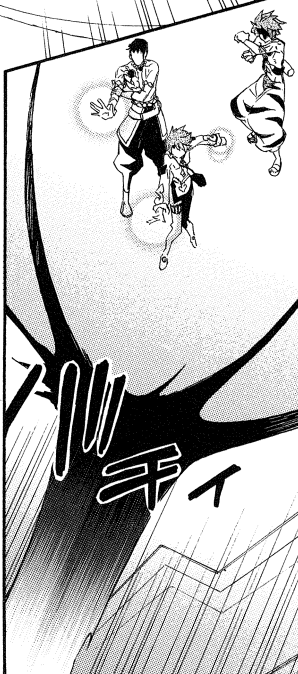
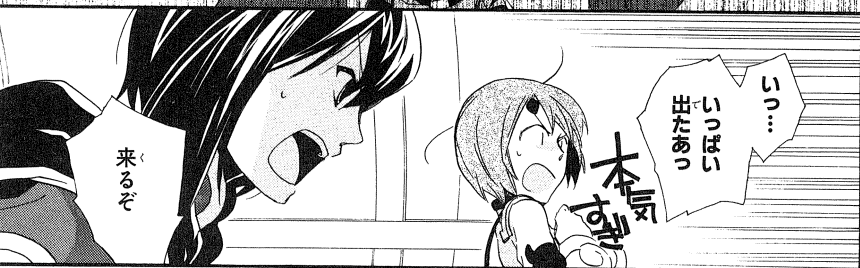
自分がやるって言ってるのねぇ

ゴォォ
シャーリィ…
あんた本当に光跡翼を発動するつもりなの…？
水の民とか陸の民とか…そういうのやめようよ
そんなの…人それぞれだと思うの
だって
わたしのお兄ちゃんだもの
陸の民のスパイだった…!?
お兄さんが？
あたしどうしてこの人を助けようと…

…イ
…リィ…
ステラ…
ごめん…
お兄さんと
話もしないまま
こんなこと…
きゅ…
ばか…

光跡翼中心部
同胞が集結するにはもう少し時間がかかります
……
は…
陸の民が1、2、3…これは…
何者かが…光跡翼の中に入りこんだようだ
何!?
は
俺が排除する
―――…あいつら…か？

ふああ〜
よく寝たあ
気を抜くな
これからが
本番だぞ
ん!?
わぁ!!!
やはり
生きていたか
よくも
のこのこと現れた
ものだな
うす汚い
陸の民どもが

ワルター…
ビクッ
……
シャーリィと話がしたい
どいてくれ
メルネスにはもう一歩たりとも貴様を近づけさせせん
お前とは…
水の民とは戦いたくない
ふざけるな!!!
裏切り者め
ガッ

ビュ
オォッ
ゼェ
でか！
!?
バチィ
こいつら爪術を…？
…ふん… どうやって力を取り戻したかは知らんが
その程度では今の俺達にはかなわん
オォォォォ

メルネスの邪魔はさせん
今度こそ──殺す
いっ…
いっぱい出たあっ
本気すぎ
来るぞ
……
時間がないっていうのに

まもなく仲間達が揃います
メルネス様
メルネス様
おおぉ
これで…もう陸の民に脅える暮らしをしなくていいんだ…
死んだ父さんと母さんもこれで浮かばれる…
わたしは…
貴様は…メルネスにとって害でしかない

ガッ
貴様にメルネスのそばにいる資格はない!
ガッ
メルネスは…今も貴様のせいで苦しんでいるのだ!
わたし…
わぁぁ
あんなにも陸の民に傷つけられ
貴様にも騙されていたとわかってもなお!
わかるか!?
あの娘のメルネスとしての使命を妨げているのは他でもない
貴様なのだ

!!
3年前
メルネスが儀式に
失敗したことも
今メルネスが
光跡翼の発動を
ためらっているのも
すべて!!
近い!
セネセネ
く…っ
貴様さえ
いなければ…
メルネスは
苦しまなかった
3年前に
儀式を終え
メルネスの姉も
死ぬことは
なかっただろう

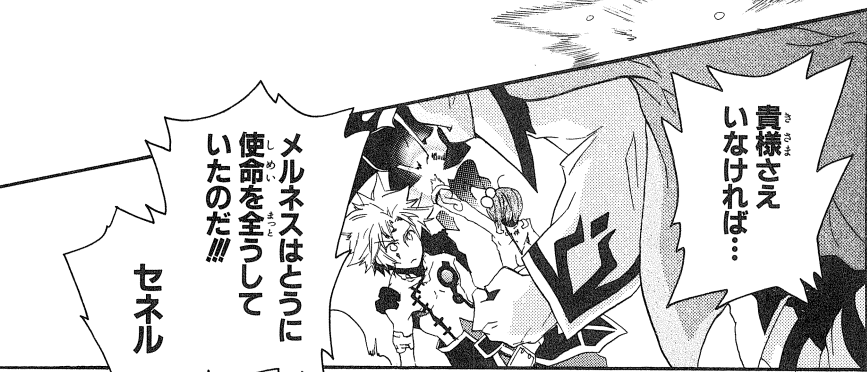
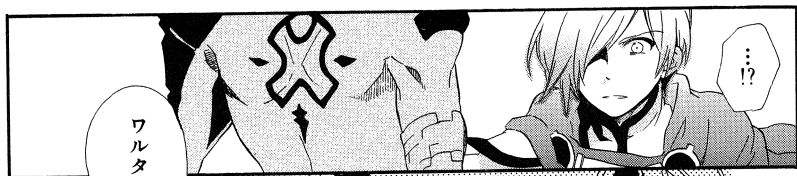
憎い…
憎い…？

そうだメルネスよ

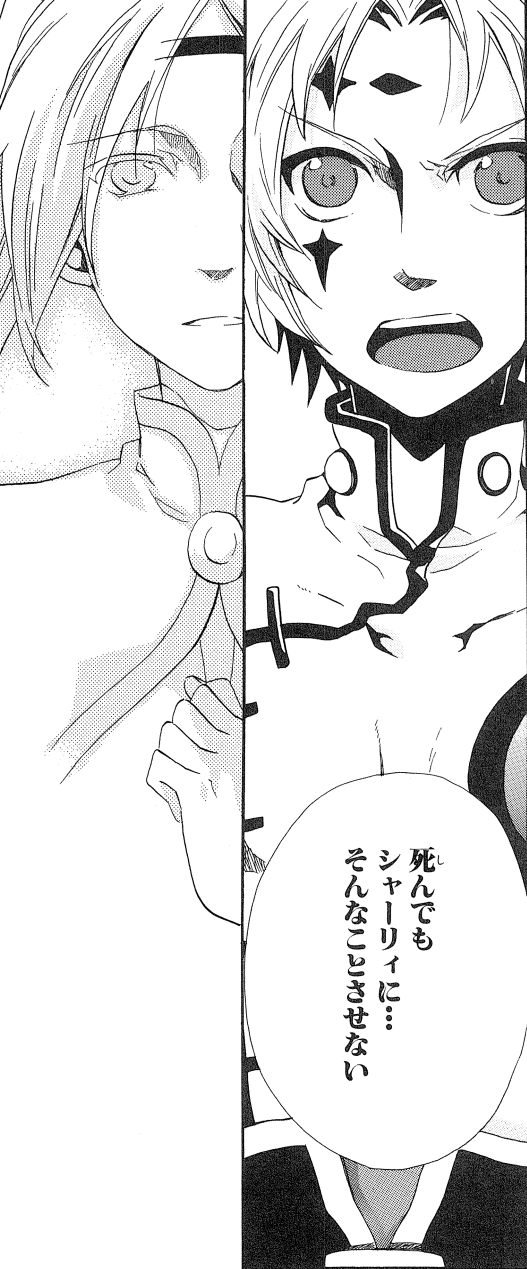
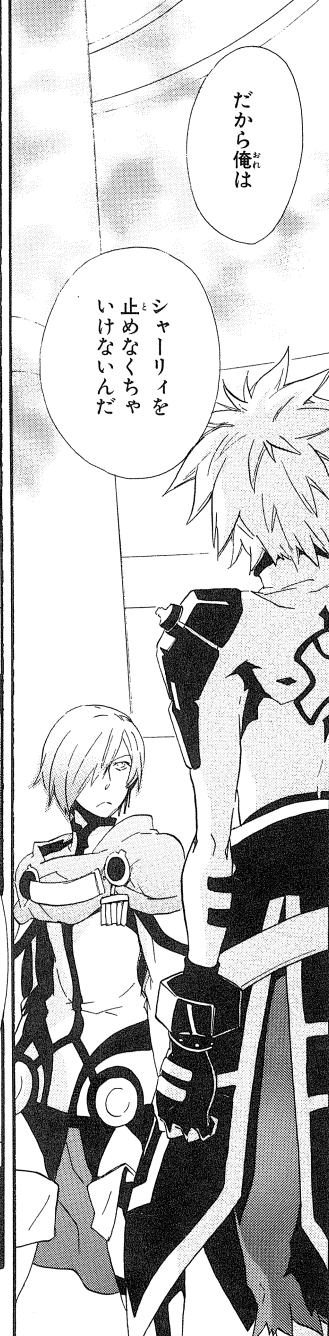
わからぬのなら見るがよい

忘れたのなら思い出すがよい

我が子らの大いなる無念を何度でも

おのれ陸の民め…
無念だ…
半分も残ってしまうとは…
はっ
キャアアッ
アアア…

うわあああああっ
助け…
助…
いやあああああっ
貴様さえいなければ…
メルネスはとうに使命を全うしていたのだ!!!
セネル
ドキィ

…!?
ワルター
お前…本当にそう思うのか？
シャーリィが
たとえ同族のためにだって
誰かの命を奪うことができる子だって
本当にそう思ってるのか

見知らぬ俺でも快く迎え入れてくれた
一緒に暮らそうって…家族だって言ってくれた
水の民だとか
陸の民だとか関係なくって
俺が初めて会った時から

シャーリィも
ステラも
そういう子だったんだ
俺の存在は
シャーリィの
陸の民への
不信感を抱かせた
だけだ
そのことで
シャーリィを
苦しめているのは
間違いなく
俺だ

だから俺は
シャーリィを止めなくちゃいけないいんだ
死んでもシャーリィに…そんなことさせない

何を見ている
ドォ!!
きゃあああああっ
ちゅんっ
我の声が聞こえぬかっ
我が子の悲鳴が聞こえぬのか!
何故だ
はぁはぁ
何故陸の民などに目を向ける!
陸の民など消え去ってしまえばよいのだ!
何故!!
邪魔なだけなのだ!!!

いや…
!!?
いやあああああああっ
わたし…
わたし…

むくんっ
な…っ
すぅ…
す…
――!?
!?
ワルちゃんの髪の色が戻ったよ!?
今だ

ぐっ…
あああっ
ドドドド
オッ
消えおったぞ
チャンスだ！一気に!!
ぐ…うっ

何故だ!?
力が…

勝てる
勝てるぞ!!
ワルター相手でも
私達の力は
通用する

……

どさっ

メ…メルネス様!?

Chapter.31 もうひとつの真実
メルネス様！
メルネス様！
メルネス様!!!

Chapter.31 もうひとつの真実

しゅるっ
無駄じゃあっ！
ヒュッ
！

ズズ
や
やったか
ドドォ
!!!

はぁっはぁっ
ぎゃっ
まだ戦うというのか…
はぁ…はぁっ
だが…何故かはわからんが
今奴の力はメルネスが誕生する前の状態に戻っている
今のオレ達なら…
……

メルネス様！

すごい熱だぞ

力が…元に戻っている!?

いかん…

村長…！

これは…3年前と同じだ

託宣の儀式に失敗した時と

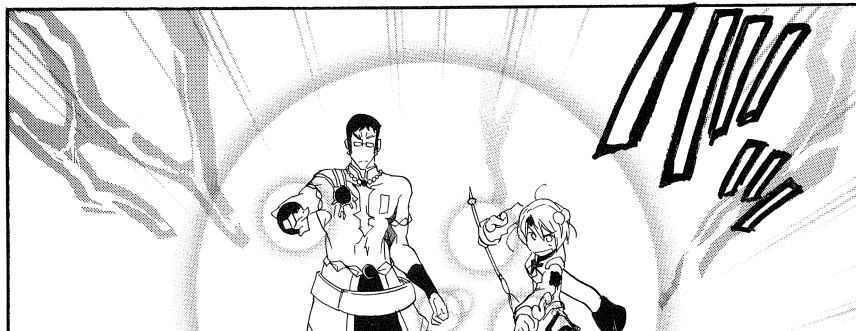
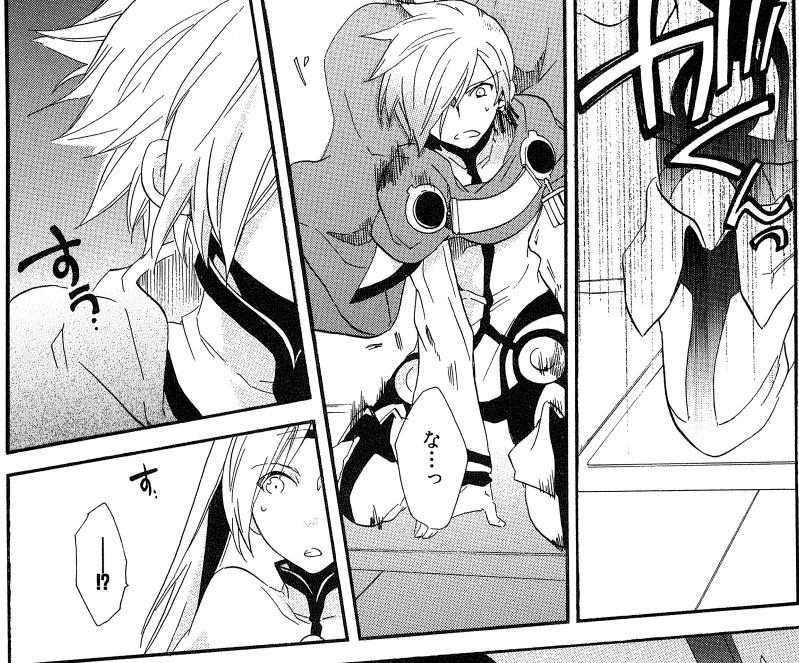
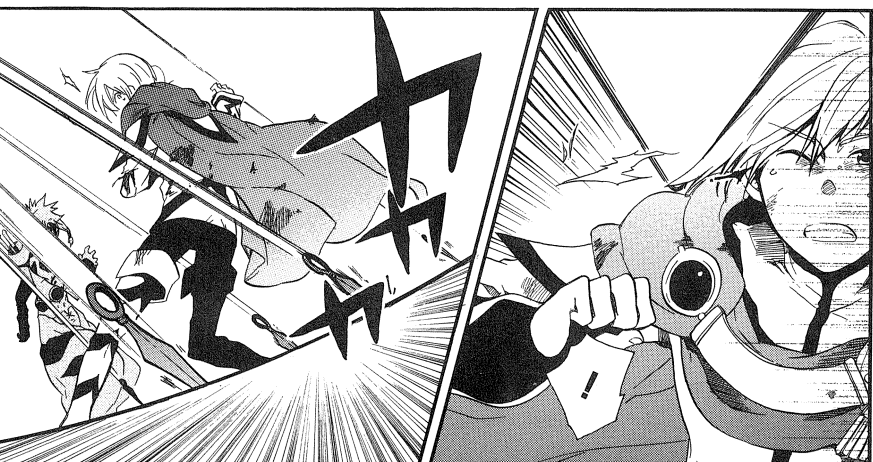
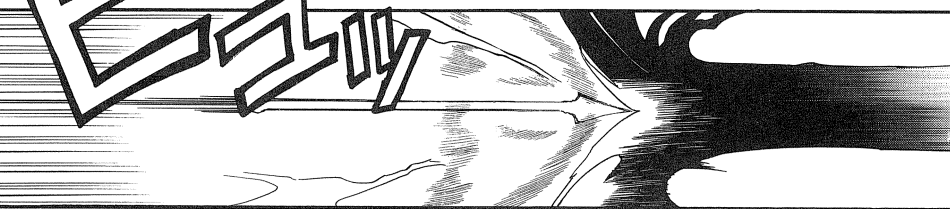
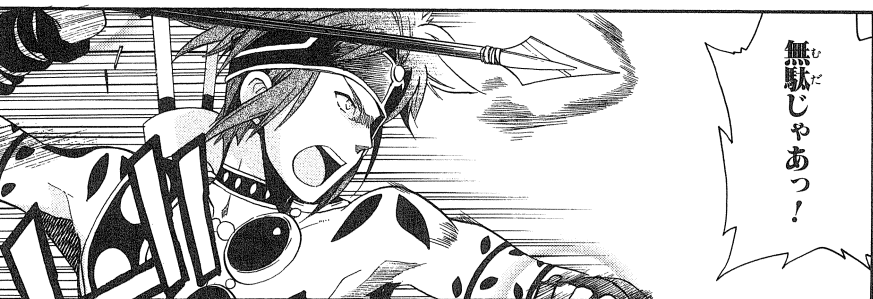
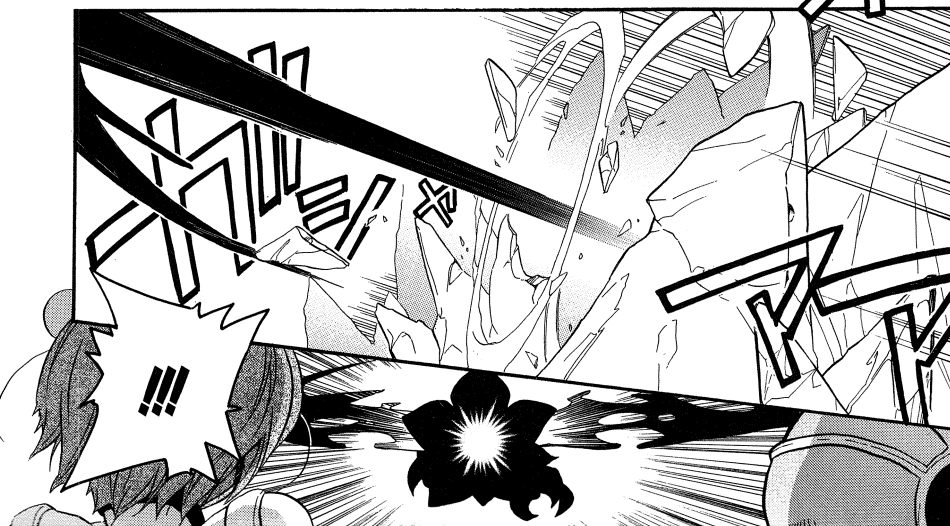
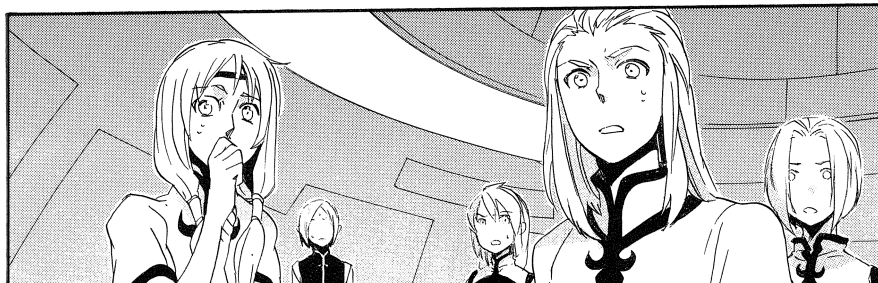
メルネス様

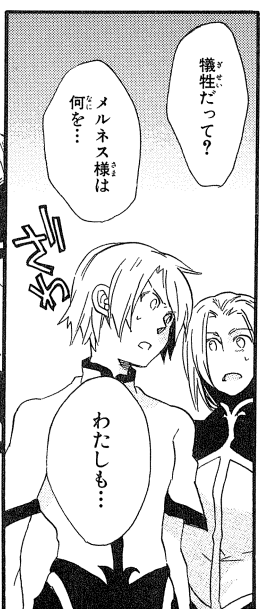
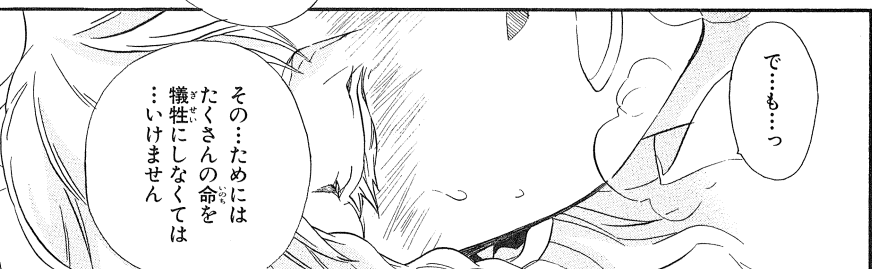
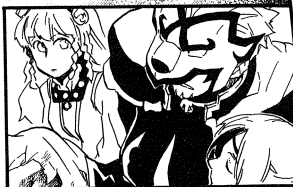
みん…な

そうだ
頑張ら…なきゃ

みんなのために

わたし…
わたしは

わたしの力は…

あなたの力は
みんなを幸せにするためのものよ…
みんなを…
マウリッツ…さん
み…なさん…

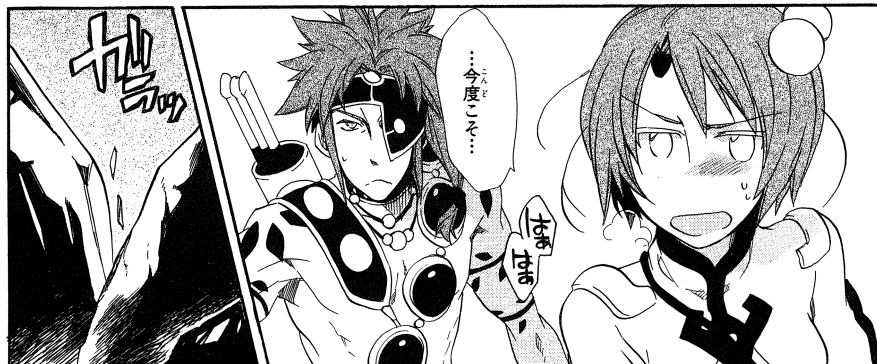
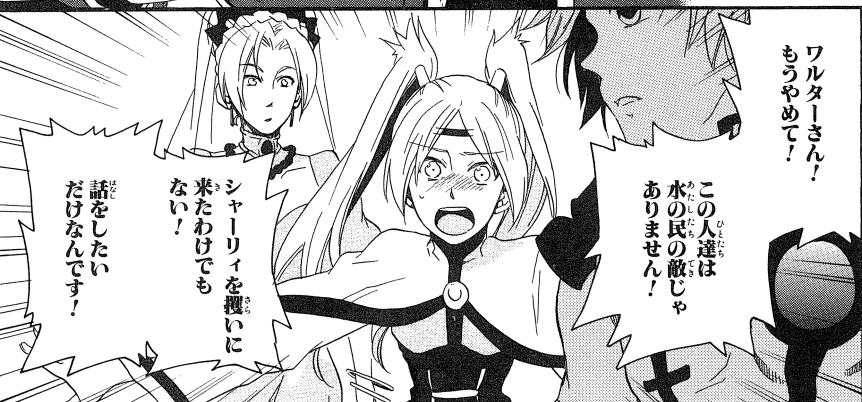
光跡翼を発動させれば
わたしがメルネスとしての役割を果たせば
海が大地を飲み込み水の民の世界を取り戻せるでしょう
で…も…っ
その…ためにはたくさんの命を犠牲にしなくては…いけません
犠牲だって？
メルネス様は何を…
ざわ
陸の民に苦しめられたことが…あります
姉もそのせいで…亡くなり…ました
酷いことをされてきた人達を…たくさん…見ました
わたしも…
だけど

助けてくれた人もいた
優しくしてくれた人もいた
励ましてくれた人もいた
元気だしなよこれリッちゃんのでしょ?
早く!こっちだ!

陸の民同士で
争ってまで
わたし達を助けて
くれようとしてくれた
そうだ
お兄…ちゃん…も
いつだって…
シャーリィ!!
わたし…

わたし…
陸の民のことが
好きになったの

ここにいる
皆さんは
陸の民と言葉を
交わしたことが
あるはずです
思い出して
ください
わたしと姉の
ステラを助けて
くれた時
あの人たちと
協力した
時のこと
優しくしてくれた
人はいません
でしたか？
心を通わせる
ことは不可能
でしたか？
水の民を救うために
…滅ぼさなければ
いけない存在でしたか？

ドドドゴゴゴオオ
ゴッ
ガラッ
…今度こそ…
はぁはぁ

ギラッ
げ…もう立たないでよ…
もう勝負は決まっちょる！
ワの字！おとなしくそこどかんかい！
ここは…通さん！
貴様をメルネスのもとには行かせん！
ワルターさん！もうやめて！
この人達は水の民の敵じゃありません！
シャーリィを攫いに来たわけでもない！
話をしたいだけなんです！

!!
クーリッジ!!
!!!
ワルター…

ワルター…
もういいだろ？
シャーリィに何かあったんだろ!?
お前も
シャーリィのもとに
行きたいんじゃ
どうして…
貴様なのだ…
俺は幼い頃から
メルネスを守るという
使命のためだけに
生きてきた
貴様を
倒してからな
ぐぐ
こいつ
まだ
なのに
どうして…
どうして
メルネスが必要と
するのは…
いつもお前なのだ…

ドサ…
バカ野郎(やろう)…
クーリッジ
……
先(さき)へ…進(すす)もう
ピクッ
!!?

死ねえっ
セネル!!!
フェニモール
…助かっ――……
ドス

ドッ
ザ
チリン
先に進ませてもらいますよ
これ以上あなたに構ってる時間はないんです

ジェージェー…
行きますよ
ぼくたちの目的は
あくまで――……
…ああ
……
すまない…
俺が倒さなきゃ
いけない相手だったのに…
嫌な役させて
……

タタッ
ねこのまままっすぐでいいの？
道間違えてたら——
あっ

シャーリィさん達が集まっている場所は恐らく光跡翼の中枢ですね
道なりにまっすぐ行けばたどり着けるようです
それと…

この映像は…？

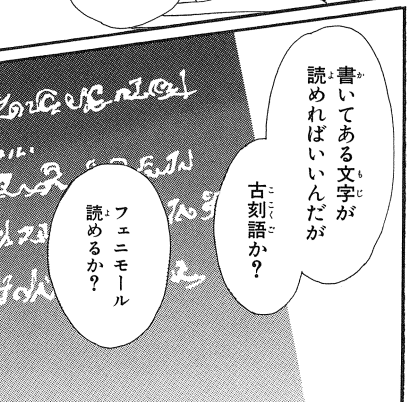
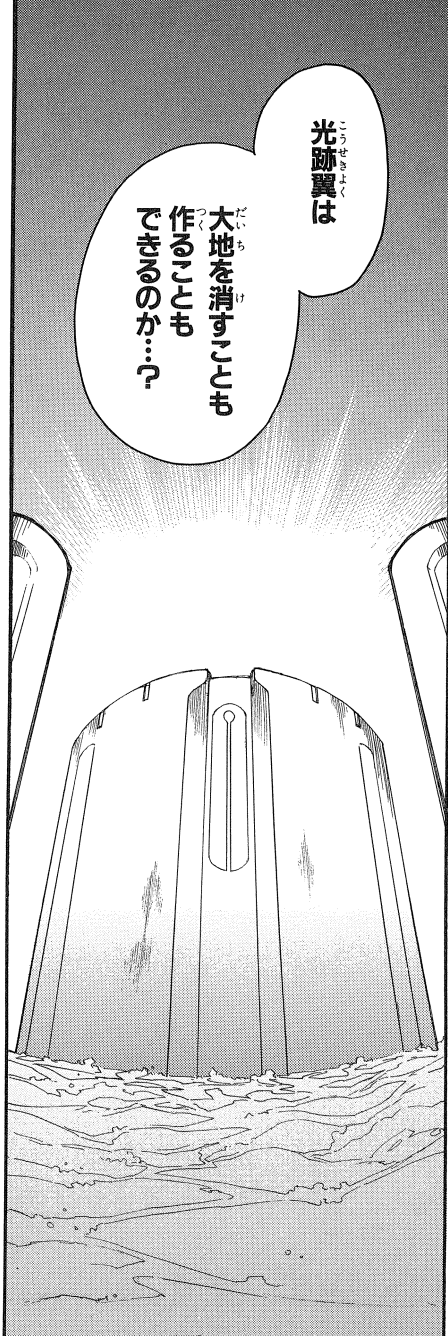
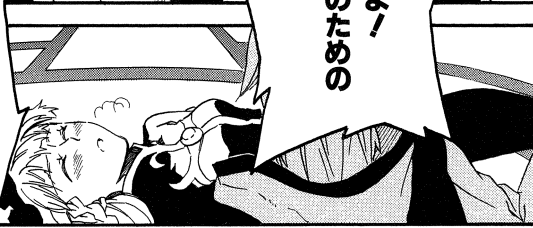
オレ達が静の滄我に見せられた映像と同じもの…か？

白くて四角い船が降りてきて…

遺跡船を作り…

その後…戦争に負けた煌髪人が大沈下…を…？

ピ
…もう一度はじめから見てみましょう
白くて四角い船が降りてきて
遺跡船作って
大沈下…？
オォォォオォォォ
大沈下…ではない!?
これは…むしろ大地ができているではないか!?
どういうことだ…？

光跡翼は
大地を消すことも
作ることも
できるのか…？
…ね
だとしたらなんか
おかしくない？
…だな
水の民は…
大地がなくても
生きることには
困らないはずだ
現に今も
大陸をすべて海に
沈めようとしてる
煌髪人が大地に
こだわるわけ…
何故こんな
兵器を…
………
書いてある文字が
読めればいいんだが
古刻語か？
フェニモール
読めるか？

古刻語じゃないよ…これ
地下空間でハっちを捜しに行った時入った遺跡で見た文字に似てるよーな…
どっちかってーとあたしらが使ってる言語に近いんじゃ…
………
…まさか…
まだ…そのような戯事を口にするか

村長・・・
滅ぼすべき存在か…だと？
今この世界が間違っていることがまだわからないか!?
陸の民どもはこの星の侵略者なのだぞ
大いなる海に覆われた静かで美しかったこの星に
汚らわしい大地を作り我々を排除し我が物顔で海を汚していく！

この星を
本来あるべき
姿に戻すのだ
メルネスよ！
お前はそのための
存在だ
そのために生まれ
そのために力を
使うべきなのだ
陸の民どもを
自ら作り出した
忌わしき兵器で
粛清してやるのだ！

おかしいとは思ってたんです
滄我砲に光跡翼…すべて煌髪人の命をエネルギーにした兵器ばかりだ
煌髪人が自らこんな兵器を作るでしょうか!?
白くて四角い船は煌髪人のものではなくて
…大陸はもともとあったものが沈められたんじゃなくて
この星の外から侵略してきたのは
ぼくたち…陸の民と呼ばれる種族のほうだったんだ

だめなの…？
ほんとうに？
これでいいの
わたしの存在の意味
陸の民を…消さなきゃ
敵…？
そんなことない
わからない
みんなの想いを
裏切って
殺したくない
苦しい
いたい
いたい
いたい…
あたまが…
熱い…
もうよい…
メルネス
お前はもう
…何も考え
なくてよい

メルネスという立場でありながら陸の民に心を奪われた愚かな娘よ
お前のせいで…またたくさんの者が、苦しむのだ
——っ
お前一人の身勝手な考えによって!!
痛い!!
頭が割れる
お前の意志は…邪魔だ!!!
ピ
ーーー
お兄ちゃん!!

先へ進もう
この星を
侵略したのは
俺達じゃない
水の民を
虐げてきたのは
俺達じゃない
今 大陸中で
生きている人達
じゃない
俺達と
水の民の関係は
何千年も前の
ままなんかじゃ
ない
変えられるんだ
変わりかけてる
はずなんだ
シャーリィ達を…
絶対に止めて
みせる

ダダ
ダダダダダダ
ダダダ
まだか!? シャーリィはどこだ
もうすぐです!
気をつけて! なんかすごい力が集まってるカンジ…
シャーリィ!!
Chapter.32 絆

オオオ

Chapter.32 絆（きずな）
オオオォ

セネル…か
よくもぬけぬけと顔を出せたものだな

ワルターは失敗したか…

シャーリィに何をした⁉

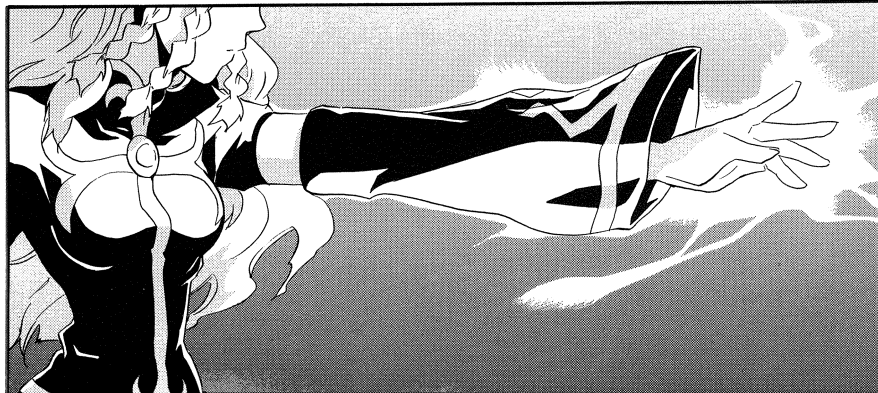
私は何もしておらんよ

すべては滄我の意志…

またしても…
この娘は滄我の意志に
逆らった
愚かだ…
まことに愚かだ
彼女はもはや
滄我の意志の
具現化である
遅かったな
諸君
光跡翼は
発動寸前だ
シャー…リィ？
あんた…
取り押さえろ！
邪魔はさせん！
——っ
この…っ

バッ
む…
シャーリィ!!
目を覚ませ！
話を聞いてくれ…！
シャーリィ!!

バッ
チーンッ
きゃあああああああっ
ザザァァァアッ
──声が…っ
届かないのか!?
シャーリィ…
あんた…なんて顔
してんのよ…
苦し…っ
動けない…っ
くそっ
ここまで来て…
シャー…

……？
何故…我の力が効かぬ…
………蒼我ちゃん…おいたがすぎるわね…
グリューネ…さ…？
何者だ…貴様は

あなたの…
世界の海を司るあなたの意志が…強すぎる憎悪が
今
世界に影響を及ぼし始めていること知っているかしら…？
ガガッ
捕えろ！
メルネスに近づけるな
!?
ドチィッ
彼らは本当に滅ぶべき存在かしら？
彼らはあなたや水の民と歩む路を望んでいるのよ

世界をあるべき姿に還すこと
それが我の意志だ
あるべき姿…
同じです それでは…同じ
またいずれあなた達は同じ道を繰り返すでしょう
何千もの年月を経て作り出された今の世のすべてを否定して
白紙に戻すというのかしら
彼らのことをもっとよく見るべきだわ

お前は…誰だ!?
わたくしはグリューネ
あなたの強い意志が呼んだ「暗黒」と対なす存在
――滄我よこれ以上憎しみをつのらせてはいずれ
あなたの望む世界すら消えてしまうわ
…?何を…言っている

人の行いをわたくしはずっと見てきたわ
フフ
陸の民も水の民も
弱く…そして強い心を持っています
あなたにも…
光が灯ることを望んでいるわ

ぱんっ
ぱんっ
ぱん
どきどき
どきっ
わっ
んごっ⁉
⁉
ビリッ
——っ⁉
なんじゃ⁉
術が…解けたんか⁉
シャーリィは⁉
光跡翼は…
どうなった⁉
いでで…
あれ…
生きてる？

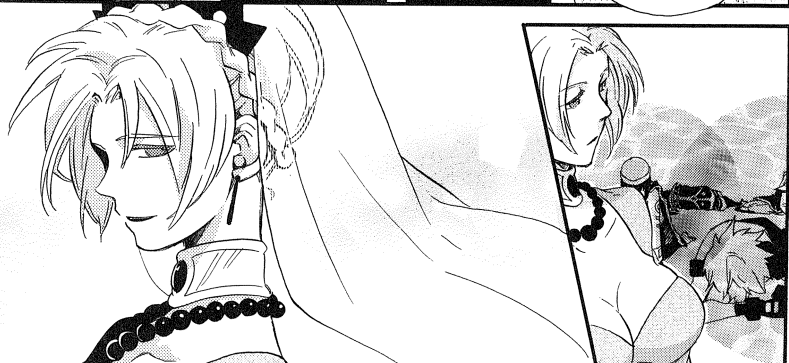
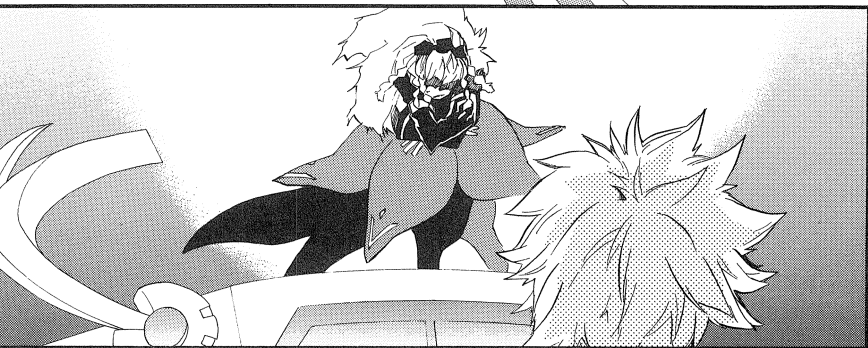
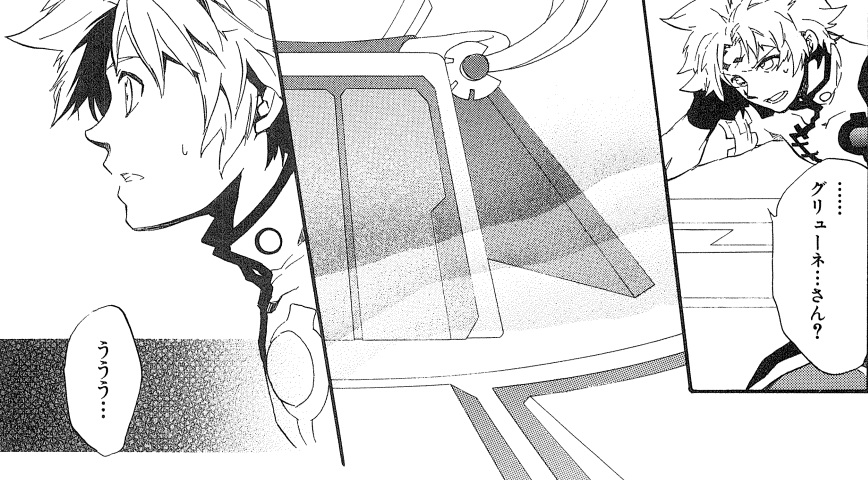
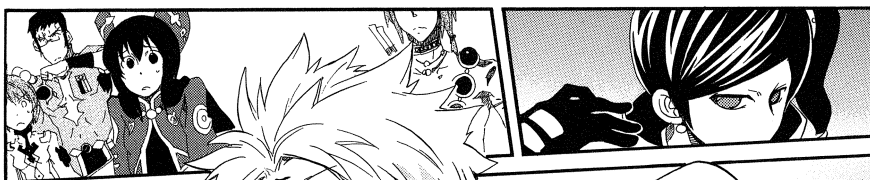
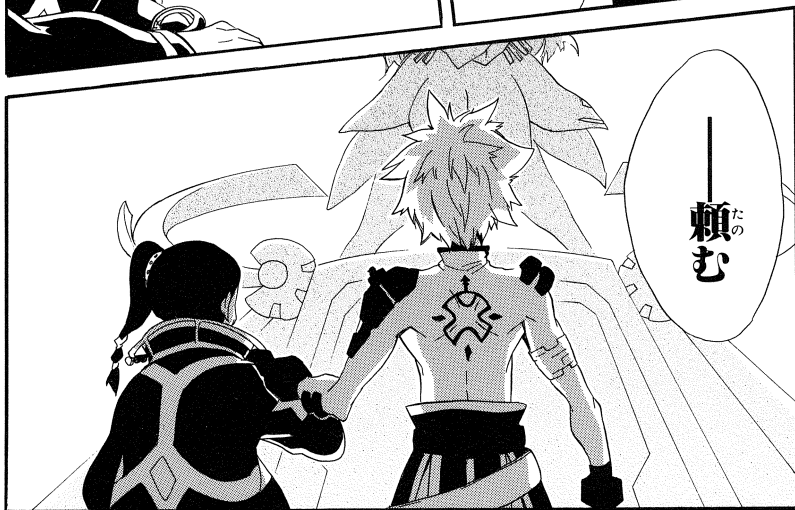
……グリューネ…さん？

ううう…

シャーリィと話をさせてくれ

……

無駄ですよ！シャーリィさんはもう――…

――頼む

俺は…
ヴァーツラフの
スパイだった
シャーリィのこと
ずっと騙してたんだ
ステラのことも
里のみんなのことも
騙してた
ピク…
ずっと黙ってて
…ごめん
俺は
ヴァーツラフ軍の
一員として
メルネスを
捕獲するために
シャーリィに
近づいたんだ

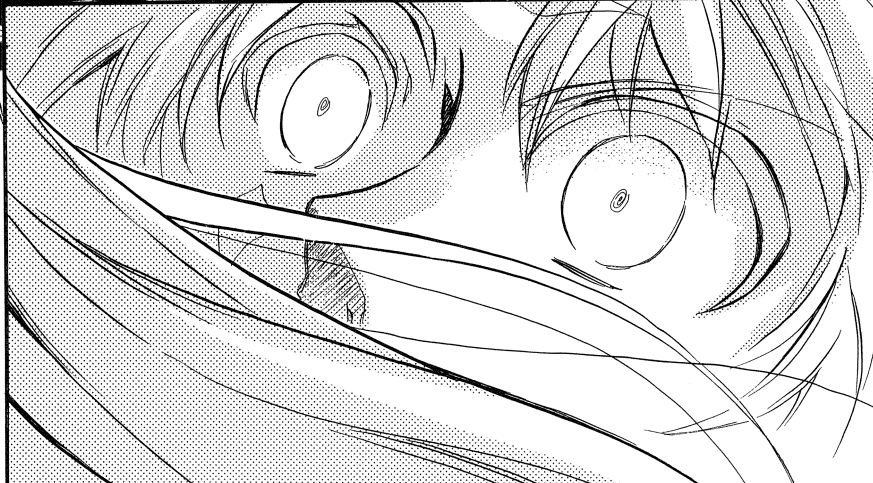
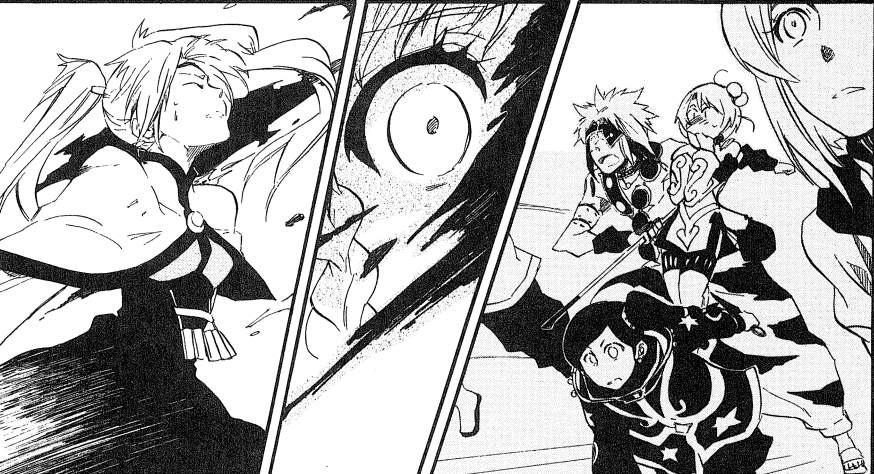
いつかちゃんと
…自分で
言うつもり
だったんだ
最初は
メルネスも水の民も
世界を脅かす
危険な存在だと
思ってたんだ…
でも――…
違った
全然違った…
シャーリィも
ステラも
あったかくて
やさしくて

家族がいなかった俺が欲しかったものを
たくさん…たくさんくれて
水の民なのに
敵だと思ってたのに
本当の家族みたいなかけがえのないものになったんだ
そう…思えたんだ

俺は違う存在だと思ってた人たちを
理解して心を許すことを知ってる
みんなにだってきっとわかるはずだ！ヴァーツラフみたいなやつもいる…
命を弄ぶようなやつもいる！でもそれは陸の民だからじゃない
違う人間だっているってわかるはずだ！

…おい
ざわ
ざわ
メルネス様も…同じようなことをおっしゃって…
どよ
……
そうだろシャーリィ
ビク
大陸を沈めるなんてやめるんだ！
こんなやり方は間違いだって…シャーリィだってわかってるはずだろ？
シャーリィ

信じてるから…

う…
あぁあああぁあっ
あの娘の…っ
意志が…っ
――邪魔だ！
シャーリィ！
貴様の存在は
邪魔だ！
大沈下の前に
貴様を消し
去ってくれる!!
!!!
ちょっ やば
セネル！
危ない！

フェニモール!!!
フェニモール!!
フェニモール!!
どうして…
フェ…ニ…
……
シャー…リィ

フェ…ニ
モ…ール…っ
フェニモール!
フェニモール!!
ダッ
…やっと
目え…醒めた?
遅いん…
だから…

フェニモール
フェニモール⁉
どうして…
いや…わたし…
わたしっ…
どうして…‼
なによ…なんて顔…
してるの…
あたし一人傷つけた
くらいで…
そんなんで…
陸の民…
粛清だなん…て
笑っちゃう
シャー…リィ

あたし…陸…の民の…こと…
嫌いだった
家族を殺されて
たくさん…傷つけられて
ちょっと…前…っの
あたしだったら
メルネス様が陸を
沈めてくれるの…
きっと喜んでた
でも
あんたが——…
お兄さんを
傷つけるとこなんて
見たくなりもの
あんたのおかげで
違うってわかった
んだ
よかった…
間に…合って…

滄我の意志に
なんか…負けないでよ
あんたの気持ち
…大事に…しなさい
フェニ…
メルネスとして…じゃ
なくって…あんたは…
あんたの…やり方…で…
陸の民を
「お兄ちゃん」だなんて
やめてよ！
わかんないの？
水の民の
恥よ！
メルネスなら
メルネスらしく
さっさと
責任
果たしな
さいよ!!
変えて…
いけ…る…わ
あんたと…
あんたの…お兄さん
なら――…

フェニモール!!!
フェニモール!
いや…いやっ
目を開けて!!
ノーマ!
回復のブレスを…
もう
やってるよ!
でも…
フェニモール!
フェニモール
嬢ちゃん…
元に戻ったんか?
そう…みたいだ
けどこんな…
………
愚か…者が

マウリッツ…さ
ヴウォーン
ヴォォーン
!!?
オォォォ
ウォォー
何…!?
光跡翼が
動いてる…!!
なっ…
わたしまだ何も…
シャーリィ…
裏切り者め
もはや貴様に
…メルネスを名乗る
資格はない!
バチャア

シャーリィ…
裏切り者め…!
ズズ…ズ
オォォォォ
マウリッツの周りに何か大きな力が集まっているぞ…
滄…我…
村長…!?
Last Chapter. 結ばれる伝説

Last Chapter. 結ばれる伝説

滄我だって!?

お…

おオ…お…

滄我よ…私を認めてくれるのか…!

ザァァァ…

オォオォオォ

メルネス以外が代行になったらどうなるんじゃ
自我が崩壊する…だけじゃ収まらない
器となる肉体すら…
クックックッ…
はーっはっはっはっは!!!

どろっ
!!?
ザチャ…
ベチャ
ビチャビチャ
!?
ズズ
ズズ

ドンッ
!!
!!!
──っ
なんだ
この力は!?
きゃああ
ノーマ
クロエ!
モーゼス!

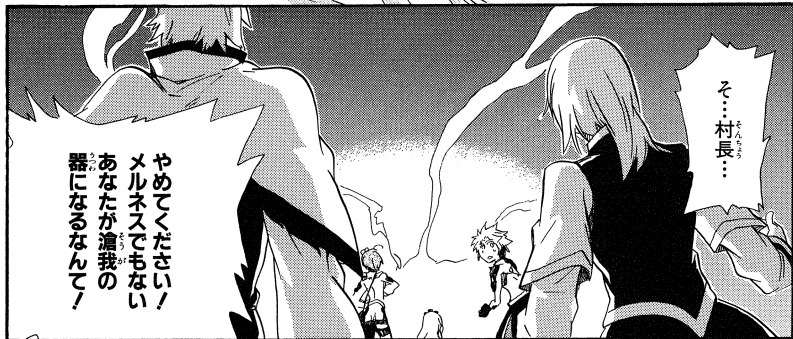
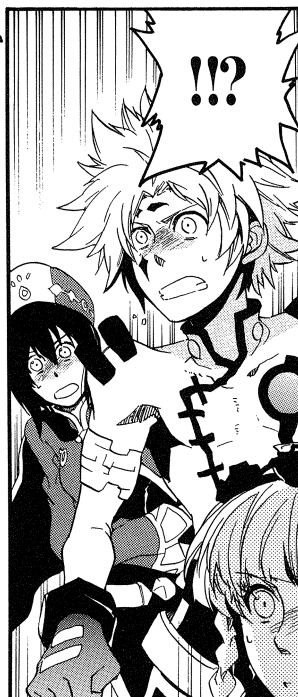
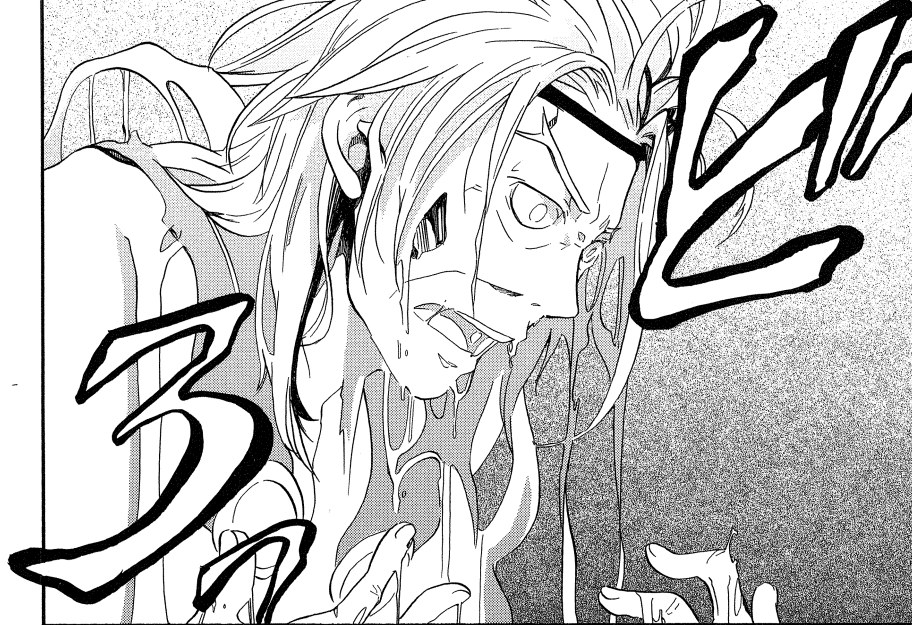
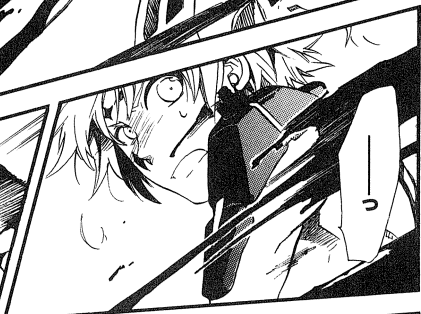
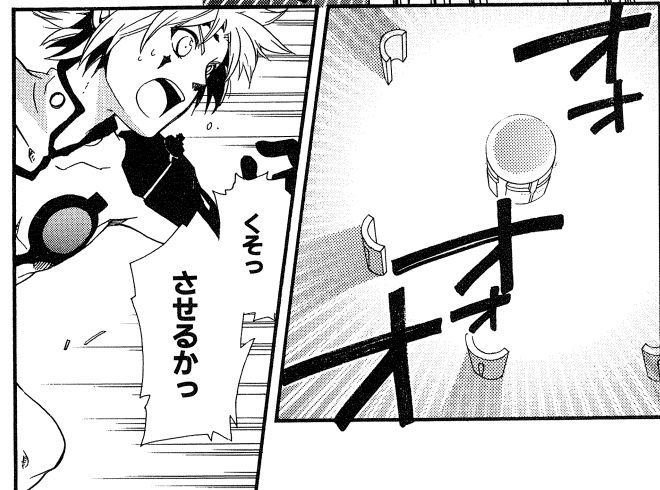
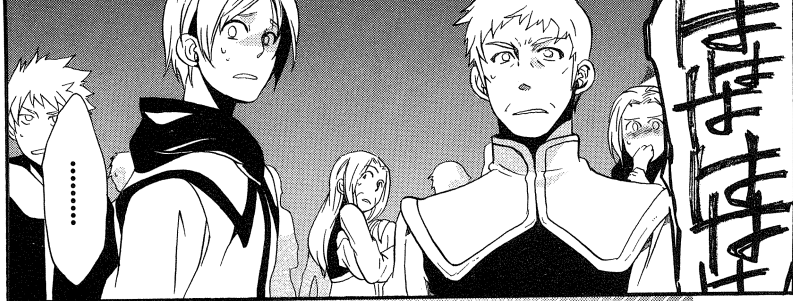
しゅる
ぱしゅ
うっ
駄目だ
みんなシャーリィさんの攻撃のダメージで動けない
全員捕まるのも時間の問題…
おいワレら
はよ助けんかい
無茶言わないでくださいよ
キン
ガキ
カン
バッ
シュウウ
くっ
オ

ふふ…
ズ…
ズズズォ
ふはは…
その程度か…
ゴボベゴッ
ゴボッ
愚かなる陸の民よ!!
ゲエッ
ズ
なんと小さい!
滄我の力の前ではお前達などゴミも同然なのだ!
ま
はっはっは

ほほほほ
……………
ぐぬぬぬ
う～～っ
ヤバイよ！
なんか
光跡翼全体が
動いてるかんじ!!
ウォン
オオオ
オオオ
大沈下…か…
くそっ
させるかっ

ムダだ

光跡翼はまもなく発動する!!

ぐあっ

近づくことさえできない!!

そもそも静の滄我の恩恵で力を使うぼくたちが滄我そのものの力に敵うはずが…

滄我そのもの…

そうだシャーリィさんは…!?

フェニモール…

フェニモール…

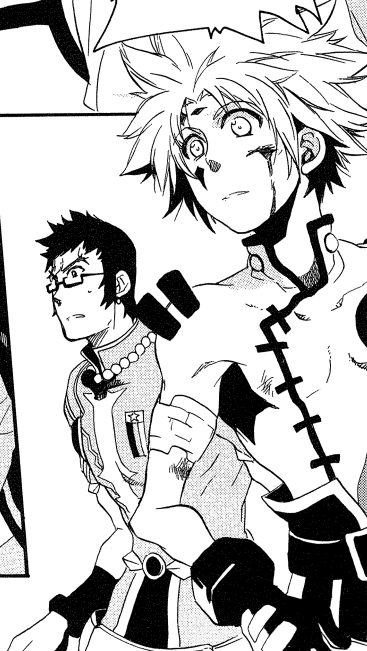
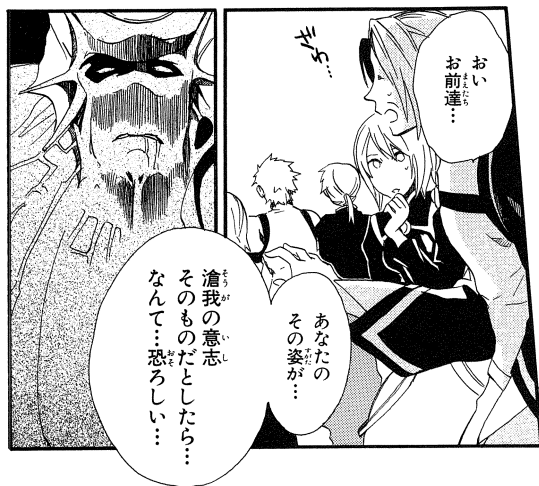
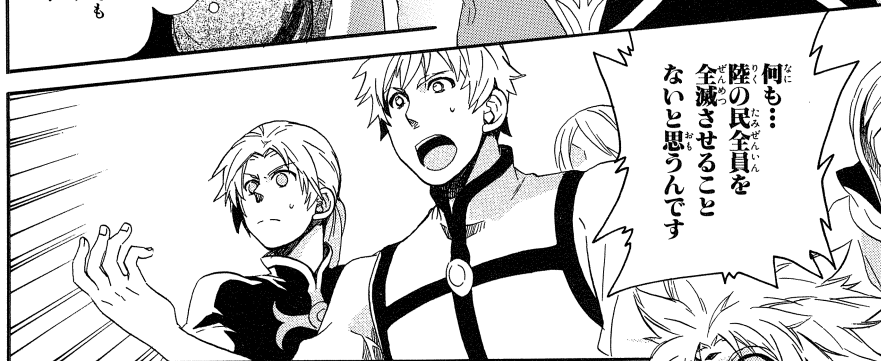
ガタガタ

フェニモール…

ゴウオォーン
チッ
ウオオオオオ
やめんかあああっ
オォオォオーォーオ
大沈下が起きちゃううう!!
終わりだ
陸の民ども
オオッ

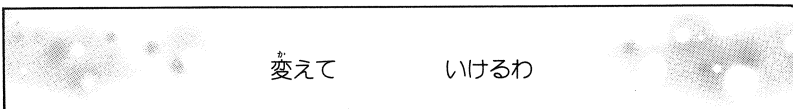
ドドドドド
何!?
えっ

お…
お前達…
何故!?
マ…
マウリッツ
さん…
すいません
でも…でも
やっぱり
俺たち…
何も…
陸の民全員を
全滅させること
ないと思うんです
ざわ…
おい
お前達…
あなたの
その姿が…
滄我の意志
そのものだとしたら…
なんて…恐ろしい…

す…
私達は長年陸の民に虐げられてきた
けれど彼らは…彼らと我々を虐げてきた陸の民とは
どこか違う気がするんです
俺達も信じたいんです…メルネス様のように…！
お…俺も…そう思う
ざわ
ざわ
私も…
俺もだ…
ざわ
ごめんなさいマウリッツ村長
……

嘆かわしいな…
メルネスのみならず
ここにいるのは裏切り者ばかりということか…
4千年の苦しみを…先祖代々の怒りをなんの粛清もせず赦すなどと!
なんと愚かしい!
ふふ…ははは
ここで全員血祭りにしてくれる!!

メルネス様と
陸の民を救え!
ビュ
ビュ
キュ
解放
された…っ
あだっ
走れ
むううう…
貴様らあああああああ
ビュルルル
きゃあああっ

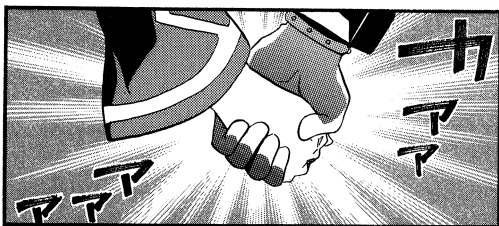
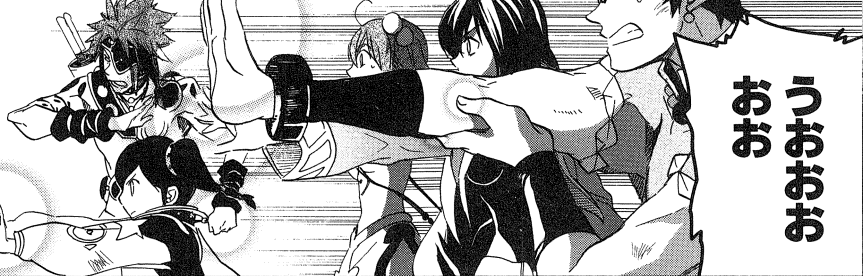
ははは
ピクッ
む――
…!?
滄我…?
大丈夫か!?
ああ…
だが奴を本気に
させてしまった
ようだな…
今までが
本気じゃなかったん
だね… コワ…
ワイらに
止める手立ては
あるんか!?
煌髪人とぼくらの力
…それにシャーリィ
さんの力が
加われば…
でも…
はっ

わああ
きゃああ
はぁ
はぁ
フェニ…
何をしてるの
…わたし…
立たなきゃ…
わあああ
ガタガタ
ふ
体が
動かない

変えて　いけるわ

戦わ…なきゃ
止めなきゃ
わたしが
自分で
立ち上がらないと
自分で——

あんたと…　あんたの——

シャーリィ

行こう
ぎゅっ

行くぞ

うん！

皆さん…！

皆さんの力を一気にぶつけてください！

この程度の力で――…

――?!

おおおおおお

バカ…な…
何故…滄我の…力…が
いや…滄我よ…

何故…
最後の最後で
…力が弱まったの…
だ…?

ザァ

シュウウゥ
ウゥ

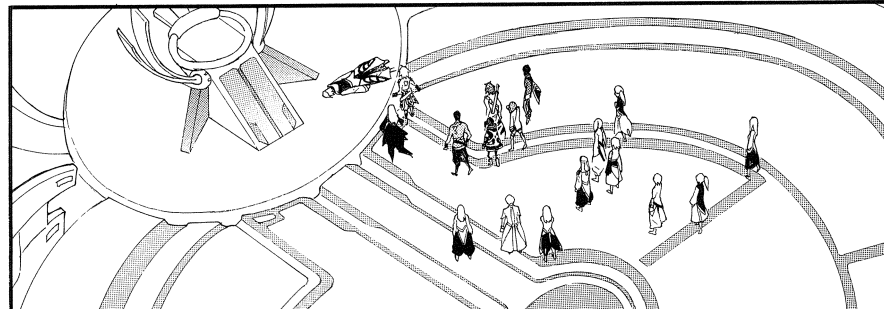
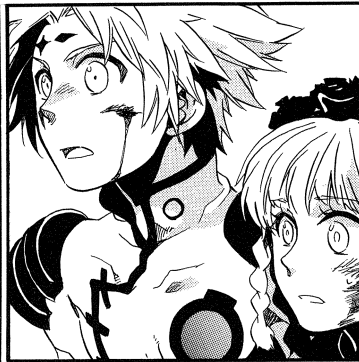
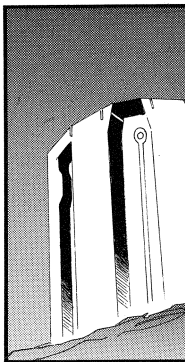
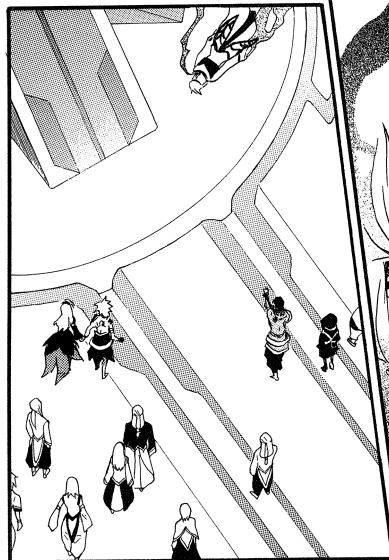
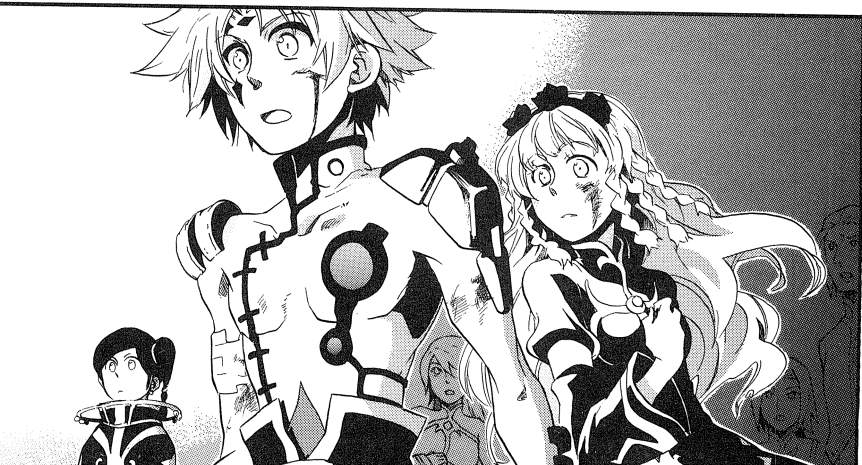
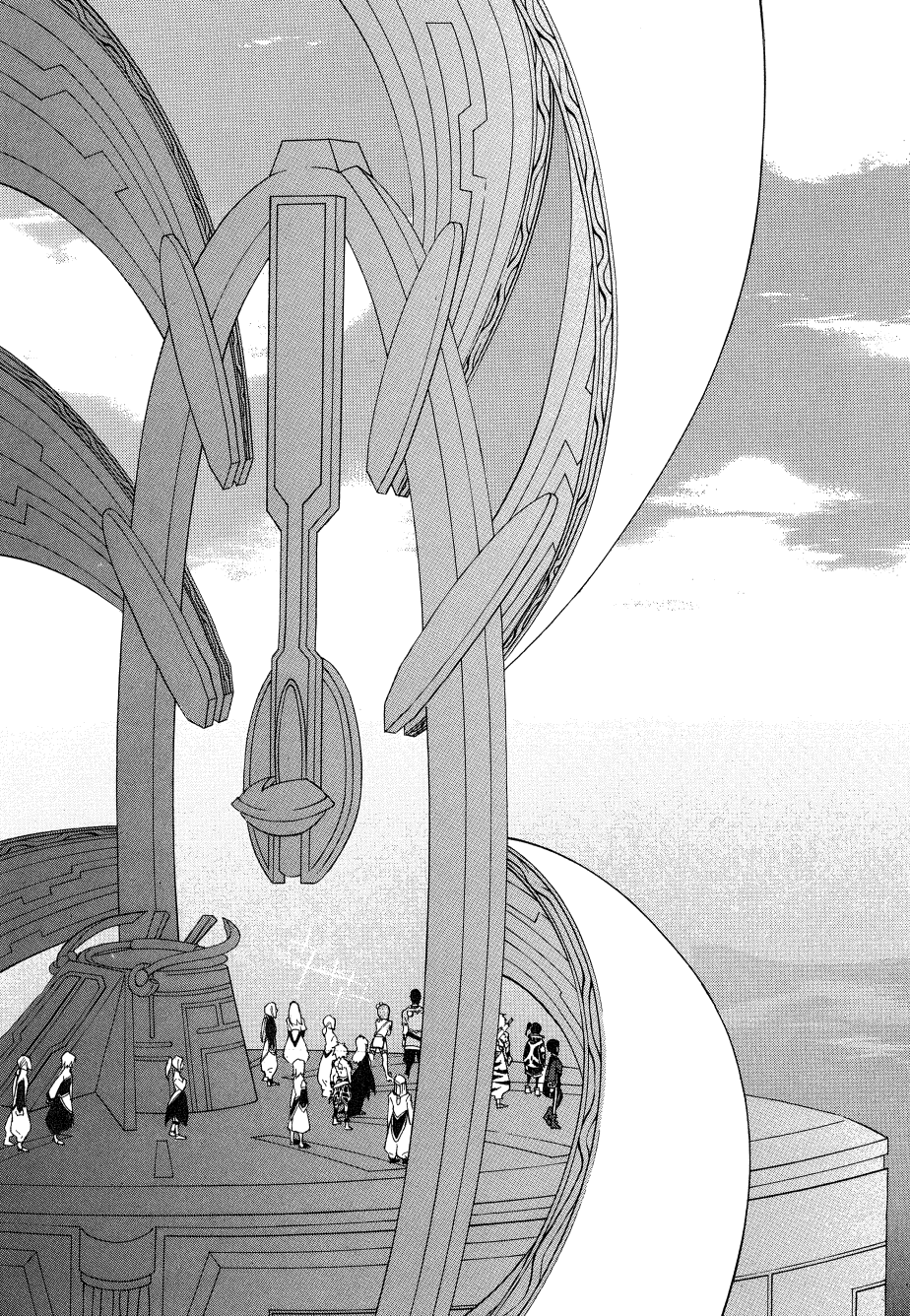
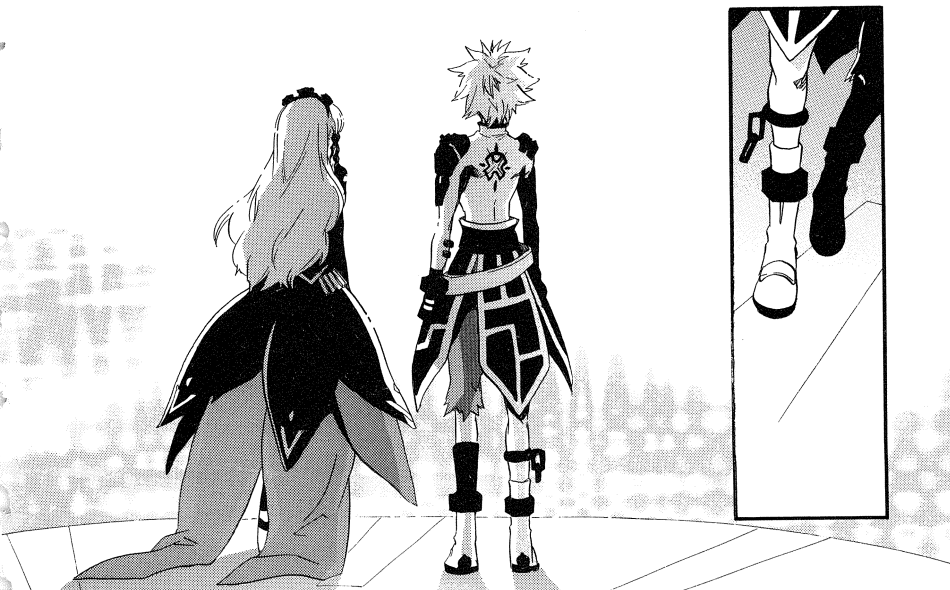
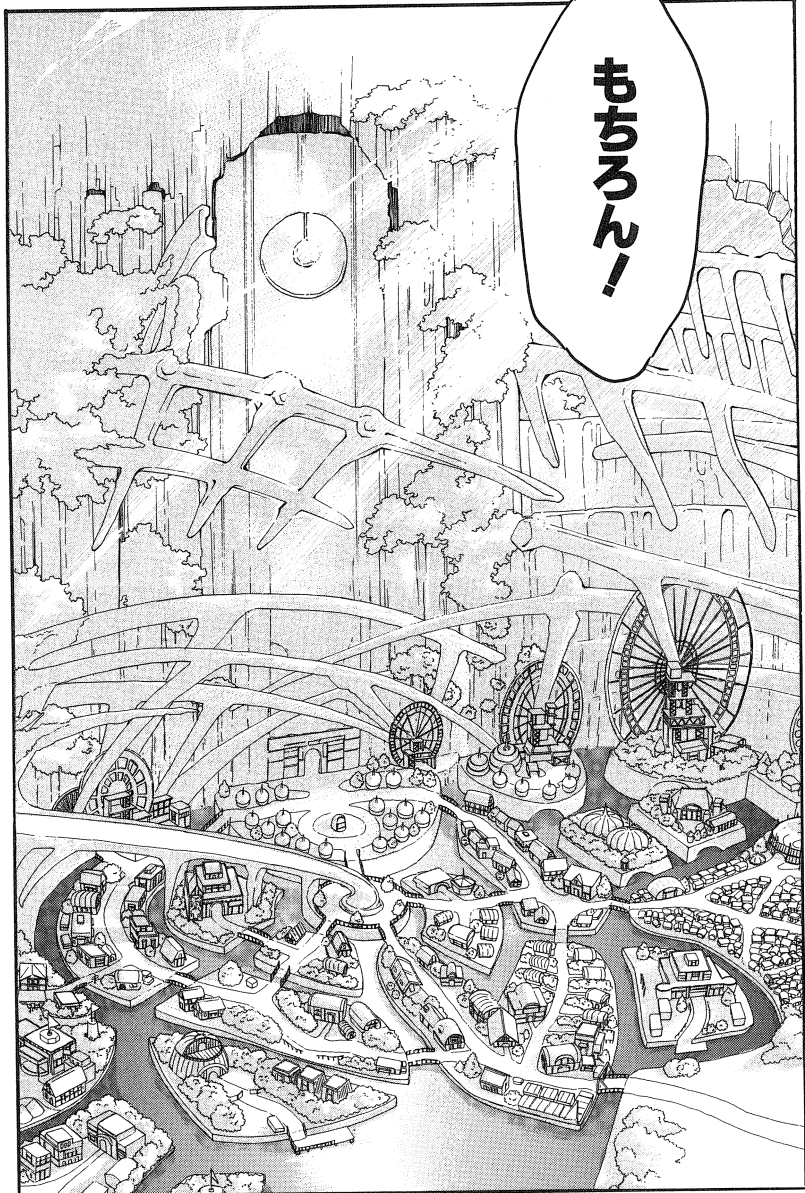
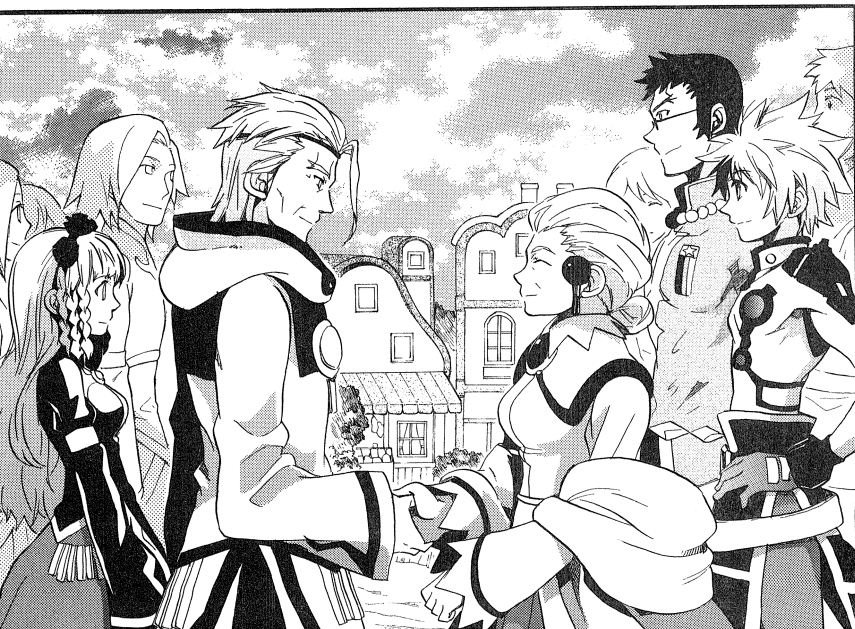
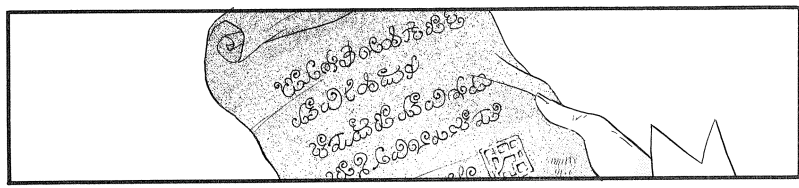
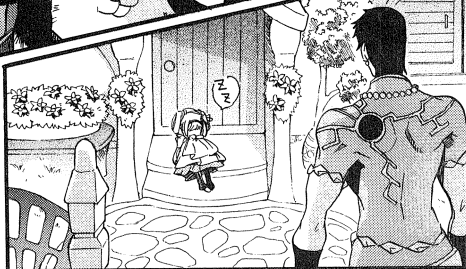
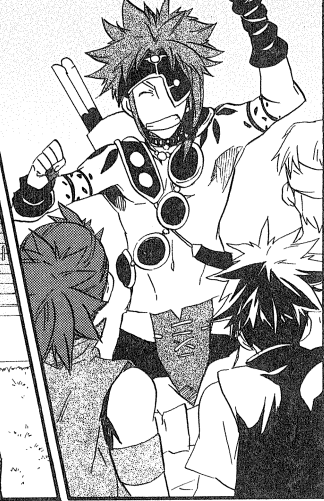
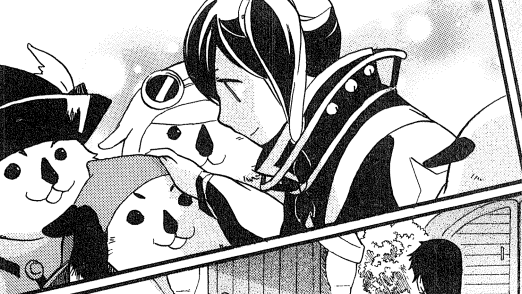
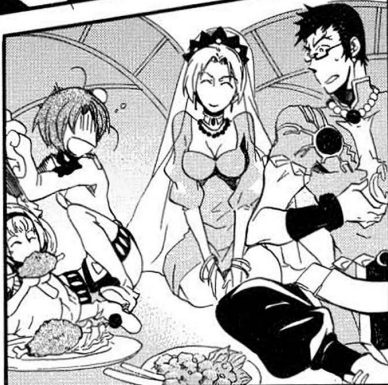
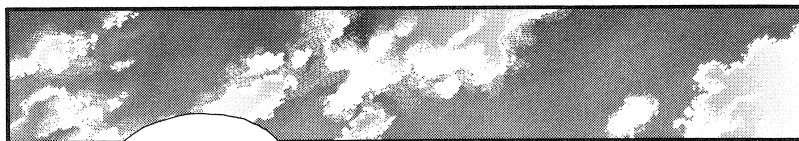
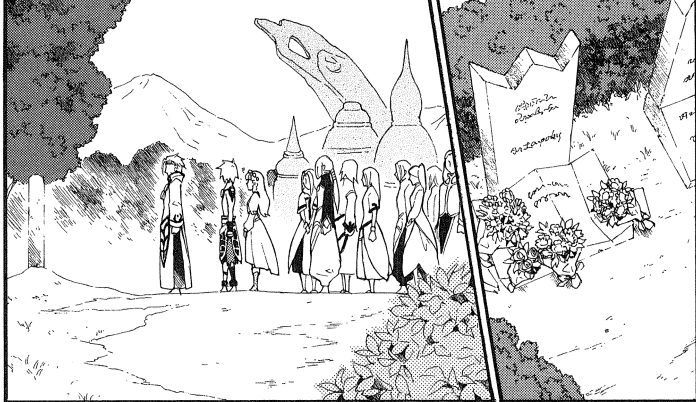
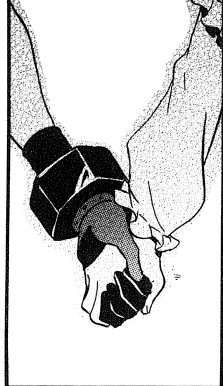
マウリッツさん…
マウリッツさん…
終わりにして
ほしい
俺達は…
俺達の関係は
きっと変わって
いける
いや…変えて
みせる！
俺達が…
……
おお
え…？

海が…

綺麗だ…

滄…我
あなたまでが…
陸の民との共存を
望むと…いうのか
…
村長！
村長！
すいません
俺達…
村長…
お前達
書状を
用意
しろ…
一から…
やり直しだ
君達の…
陸の民の代表と
もう一度話を
させてくれないか

もちろん！

ZZ

ザアァ
海水を浴びてももう体調を崩さなくなったんだって？
りん…
滄我が…わたしのことを許してくれた証拠
…だよね
そうだな…
……
なんだか不思議
えっ？
お兄ちゃんとこうやって普通におしゃべりするのすごく久しぶりな気がして…

実際久しぶりだからな…
そう…だね
よかった…
わたしの心の弱さでたくさんのものを失ってしまった…
ごめんなシャーリィ…俺が
ううん私のほうこそ信じられなくてごめんなさい…
いっぱい…
いっぱい頑張らなきゃ…
これから陸の民と水の民の関係をよくしていくために…

ぎゅ
俺も
俺達も
いること
忘れるなよ

初出・月刊ComicREX平成20年7月号～平成21年1月号

テイルズ オブ レジェンディア⑥ おわり

応援ありがとうございました

大好きなレジェンディアと
こんな形で関われて本当にうれしかったです!!

ありがとでした!!!!

藤こまあゆみ.

すぺしゃるさんくす

☆川さん. ポンデさん. ましろさん. あやちゃん.
キッサンさん. ちづるちゃん. みきちゃん. さやかちゃん
えくらっち. なつきさん. みずさわさん. あずみん

丸山さん. 本田さん. バンダイナムコ様

テイルズ オブ レジェンディア❻

著者　藤村あゆみ
原作　株式会社バンダイナムコゲームス

2009年2月20日　初版発行

発 行 者　杉野庸介

担当編集　丸山章司

発 行 所　株式会社一迅社
〒160-0022　東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6133(編集)
電話　03-5312-6150(営業)

印刷・製本　共同印刷株式会社

装　　幀　WANNABIES

ISBN978-4-7580-6131-5

IDコミックス

原作：バンダイナムコゲームス
藤村あゆみ

一迅社
REX 129

ISBN978-4-7580-6131-5
C9979 ¥552E
雑誌 50639-89
定価：本体552円＋税
一迅社

ヴァーツラフを倒し、セネル達は遺跡船に
平和を取り戻したかのように見えた…。
しかし、託宣の儀式に臨んだシャーリィは
セネルが自分たちを裏切っていたことを知らされ、
絶望のままメルネスとして目覚めることに。
今まさに、彼らの絆〈キズナ〉が試されるとき。
テイルズ オブ レジェンディア、ここに完結！